

「アフィンガーラボ」プレゼンツ

目指せ！アドセンス合格！

AFFINGER6で

記事を書き始める！

最初の10記事更新

するまでにやること

7選！

【ブロックエディタ初級編】

【お問い合わせ】

【プライバシーポリシー】

ワプロス 著

@woploss

第1版 2021年7月3日発行

はじめに

このPDFはAFFINGERの使い方を解説するサイト「アフィンガーラボ」(<https://wordpress-theme.jp/affinger/>)の記事を一部抜粋、再編したものです。

対象のバージョンはAFFINGER6(ACTION)です。AFFINGER5(WING)では使えないので注意してください。

注意事項

著作権は当サイト「アフィンガーラボ」に帰属します。

このPDFはAFFINGER公式様とは無関係のものです。あくまで一個人が発行している非公式のものになります。

許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

AFFINGER6の使い方をもっと知りたい人は私のサイトの方にお立ち寄りください。いろんな使い方を記事にしています。また、Twitterもやっています。AFFINGERの使い方などつぶやいていますのでよかったらフォローお願いします。

AFFINGER6の使い方を紹介するサイト：アフィンガーラボ (<https://wordpress-theme.jp/affinger/>)

筆者 Twitter：ワプロス (<https://twitter.com/woploss>)

目次

前書き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

ブロックエディタの使い方（初級編）

1、ブロックエディタのイメージを掴もう！・・・・・・・・・・・・ 6

2、見出しブロックをマスターする！・・・・・・・・・・・・ 17

3、段落ブロック（テキスト）をマスターする！・・・・・・・・・・・・ 27

4、画像ブロックをマスターする！・・・・・・・・・・・・ 39

5、記事を公開する！・・・・・・・・・・・・ 49

サイトに必要なページを作成する

6、お問い合わせページを設置する！・・・・・・・・・・・・ 62

7、「プライバシーポリシー」を設置する！・・・・・・・・・・・・ 72

あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

クリックで該当のページに飛べます。

前書き

この PDF は AFFINGER6(アフィンガー6)の初期設定が終わった人向けのものです。初期設定がまだの人は初期設定用の PDF があるのでそちらを先に終わらせてください。

.....

それでは！初期設定が終わった人！「善は急げ！」ということでさっそく記事を作っていきます！この PDF のゴールは「記事を 10 記事公開すること」。そして「アドセンスに合格すること」です。

まず、第一の目標は**最低限の記事を作れるようになります！**ということです。「**ブロックエディタの使い方(初級編)**」ではブロックエディタの基本的な使い方を説明します。記事を作る上での最低限の知識はここでマスターしてください。ブロックエディタの使い方が理解できたら記事を投稿してみましょう。そして 10 記事投稿にチャレンジしてみてください！

10 記事投稿できたら「**お問い合わせページ**」と「**プライバシーポリシーページ**」を作ります。この 2 つはサイトを運営する上で必要不可欠なページです。しかもアドセンス申請時にも必要とされているページです。

すべて完了したらアドセンスに申し込んでみましょう！



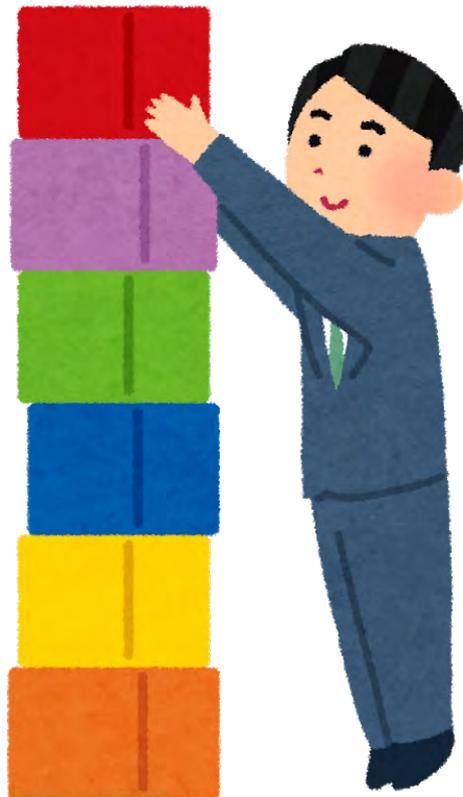
ブロックエディタの使い方 (初級編)

ここでは初めてブロックエディタに触る人に向けてその使い方を解説します。初めての状態から最低限の記事を作れるようになりましょう！そのために最低限の知識をここにまとめました。全5講座です！

1、ブロックエディタのイメージを掴もう！

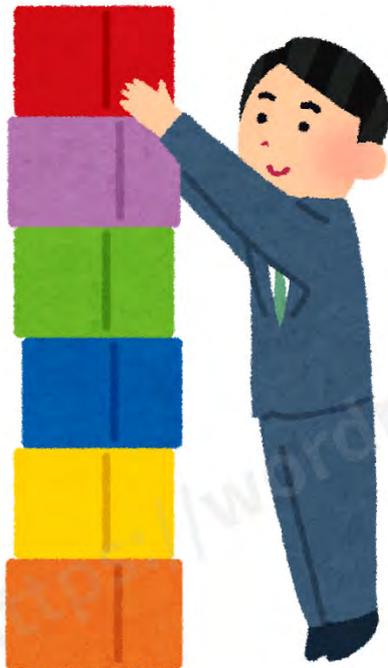
1 講座目はブロックエディタの全体像についてです。

まず、「記事を書く大まかな流れ」と「各パネルの役割」について抑えましょう。
ブロックエディタを触る前の準備体操と思ってください。



ここではブロックエディタ(グーテンベルク)を初めて触る人に向けてブロックエディタで「記事を書く流れ」と「各パネルの役割」を超！ざっくり解説します。これを知っておくと知らないでは今後ブロックエディタの使い方に大きな違いが出ると思います！ぜひブロックエディタの使い方の大まかなイメージを掴んでいてください。

1、ブロックエディタで記事を作る流れ(全体イメージ)



ポイント！

- 独立したブロックの集合体が一つの記事を構成。
- ブロックには画像ブロック、見出しブロック、段落ブロックなどたくさんある。
- あなたがやるのはブロックを作ってそれを積み上げていくこと。

まず、記事を作る流れを理解しましょう。流れはいたってシンプルです！**ブロックを作って積んでいくそれだけです。**

ブロックとは"見出し"や"段落"そして"画像"。あらゆる要素のことを指します。これらはすべて**1つの独立した"ブロック"**として扱われます。あなたがするのはこのブロック単体を一つ一つ作って積み上げていくことです。レゴに似ていますね。ブロックを積んで積んで積みまくりましょう！

1、ブロックエディタで記事を作る流れ（詳細）

それでは記事を作る流れをもっと詳しく見ていきましょう。

- 手順1：倉庫から未加工のブロックを持ってくる

ごめんくださーい！
ブロッカーつくくださーい！

ぼく

あいよー！
好きなブロック持ってきなー！

ポイント！
左のパネルはパーツ置き場
ここからブロック作成を始めよう！

まずは「材料調達」です。未加工のブロック（パーツ）を持ってきましょう。未加工のブロック（パーツ）はどこにあるかというと左側のパネルにあります。左側のパネルは左上の **+**（プラスボタン）を押すと出てきます。この左側のパネルはブロックの「資材置き場」と考えてください。ここから、画像ブロックであったり見出しブロックであったり必要なものを調達してきます。

- 手順2：未加工のブロックに中身を入れる

よーし！
いいブロック作るぞー！

ポイント！
中央のパネルは作業画面。
ここでブロックを加工しよう！

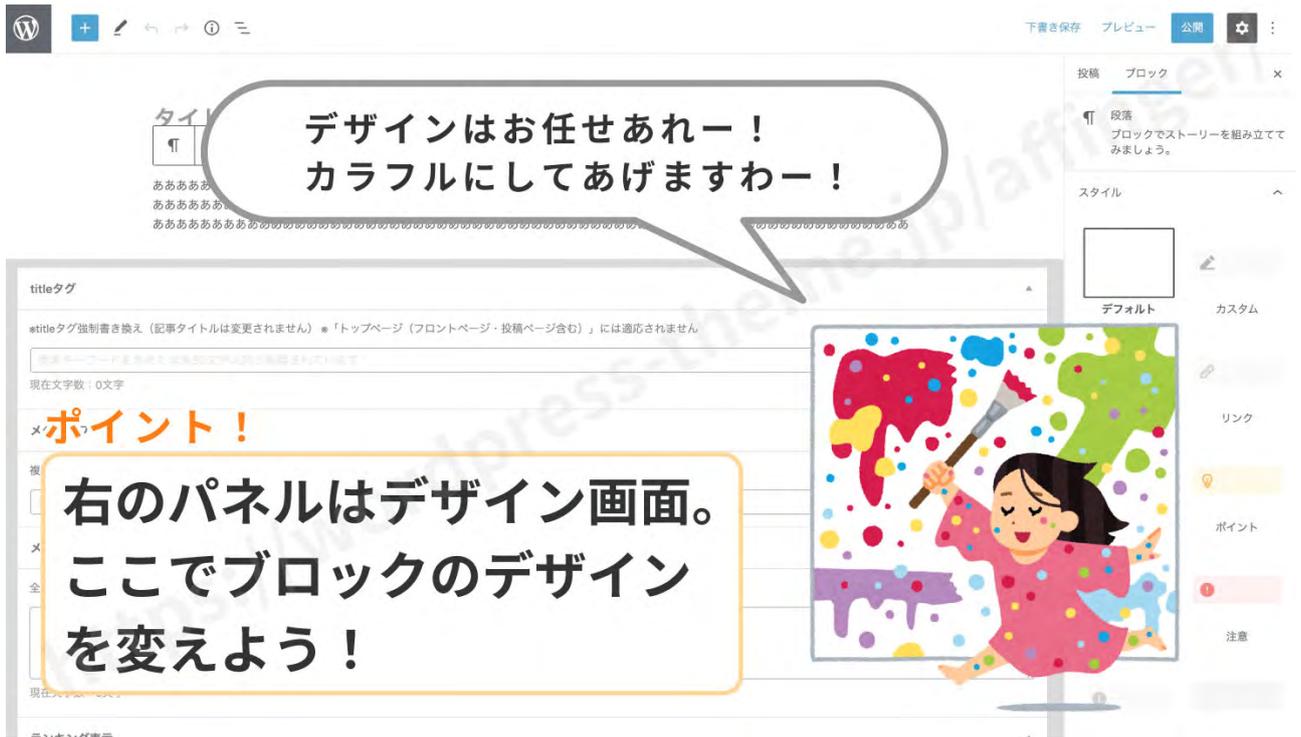
ぼく

次は中央のパネルです。ここは作業場とお考えください。持ってきた未加工のブロックを加工する場所です。ここで文章を書いたり画像を挿入したりします。ブロックに魂を吹き込むのです。

- 手順3：できたブロックにデザインを施す

ごめんくださーい！
ブロックをカッコよくしてください！

ぼく



ブロックの中身を入れた後はそのブロックに**デザイン**を施しましょう。デザインはどこで施すかという今回は右のパネルです。右のパネルは右上の  (歯車マーク) をクリックすると呼び出すことができます。ここはデザイナーがいるアトリエとお考えください。パネルを開くとデザインの一覧が出てきます。ここから好きなデザインを選びましょう。選択するとブロックにデザインが反映されます。

こうやって1つのブロックが完成します！

- 手順4：作業を繰り返す

記事が完成するまでブロック作りを繰り返す....

公開 今すぐ

ブロックのトップに固定

レビュー待ち

ゴミ箱へ移動

記事タイトル (文字数) ↕

タグ

あとは記事が完成するまでひたすらこの作業を繰り返します。見出しブロック、段落ブロック、画像ブロック、リストブロックなど、いろんなブロックを駆使して1つの記事を完成させましょう。

だいたい 50 から 70 ほどのブロックが積み上がるのではないかと思います。

- 手順5：記事を公開する

ごめんくださーい！
完成した記事を公開したいんですけどー！

投稿 ブロック ×

ステータスと公開状態

表示状態 公開

公開 今すぐ

ブロックのトップに固定

レビュー待ち

ゴミ箱へ移動

記事タイトル (文字数) ↕

パーマリンク

URL スラッグ

profile

URL の最後の部分。 [パーマリンクの詳細](#) ↕

投稿を表示

<http://test.local/profile/>

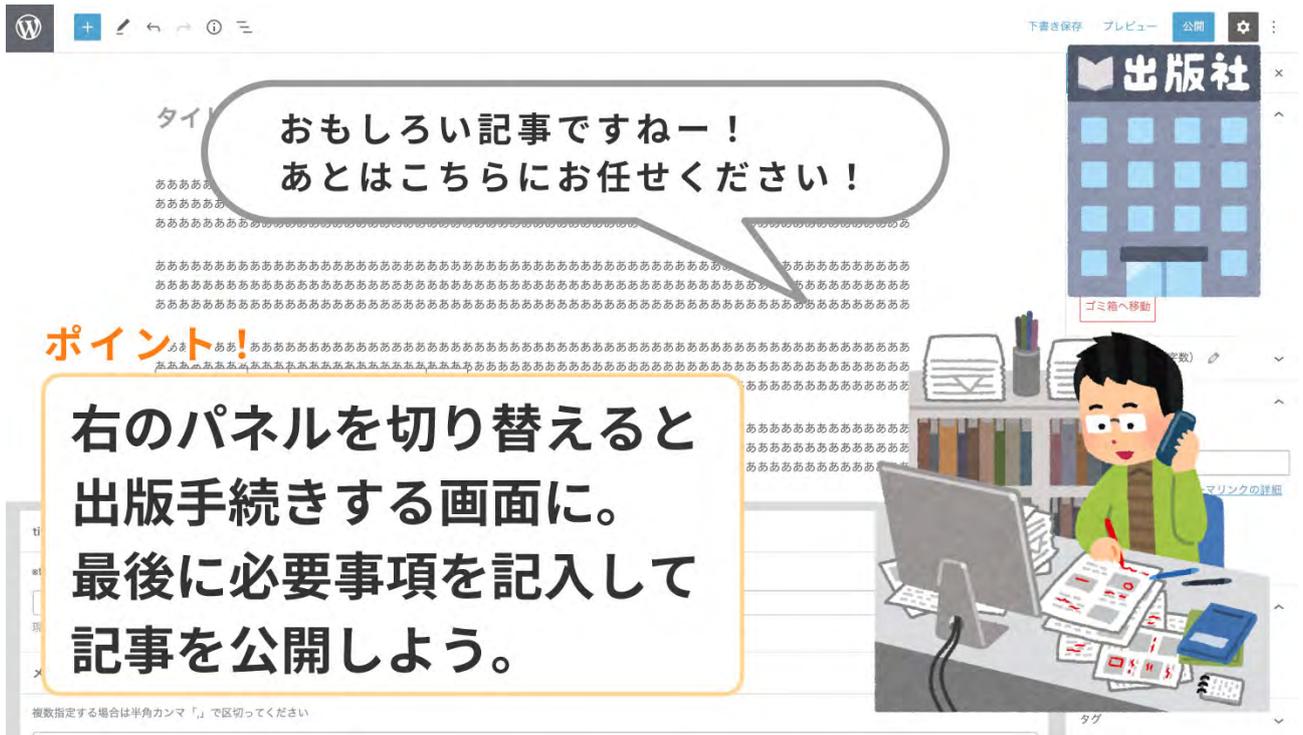
カテゴリー

本

[新規カテゴリーを追加](#)

タグ

ぼく



ブロックが積み終わったら記事を公開します。記事を公開するにはどこに行けばいいかというと右のパネルです。デザインを施した場所と一緒に。タブを切り替えると出てきます。ここは**編集者がいる出版社**とお考えください。ここで出版手続きをします。パーマリンクの変更やカテゴリ選び、アイキャッチの挿入などはここでします。

設定が終われば記事を公開しましょう。

以上が記事作成の流れです。イメージは掴めましたか？

2、まとめ

おさらいをしましょう！

- ブロックエディタの記事作成の流れ

おおまかな流れを掴んでください！

1. 左のパネルから未加工のブロックを持ってくる
2. 中央のパネルでブロックに内容を入れる
3. 右のパネルでブロックにデザインを施す
4. 1～3を繰り返してブロックを積み上げる
5. 右のパネルで公開情報を入力
6. 記事を公開

- 各パネルの役割

あひよー！好きなブロック持ってきなー！
ポイント！
左のパネルはパーツ置き場
ここからブロック作成を始めよう！

よし！いいブロック作るぞー！
ポイント！
中央のパネルは作業画面。
ここでブロックを加工しよう！

デザインはお任せあれー！カラフルにしてみますわー！
ポイント！
右のパネルはデザイン画面。
ここでブロックのデザインを変えよう！

おもしろい記事ですねー！あとはこちらにお任せください！
ポイント！
右のパネルを切り替えると
出版手続きする画面に。
最後に必要事項を記入して
記事を公開しよう。

- 呼び出しボタン

各パネルを呼び出すときに使うボタンは最初に覚えましょう！すべてはこのボタンから始まります！



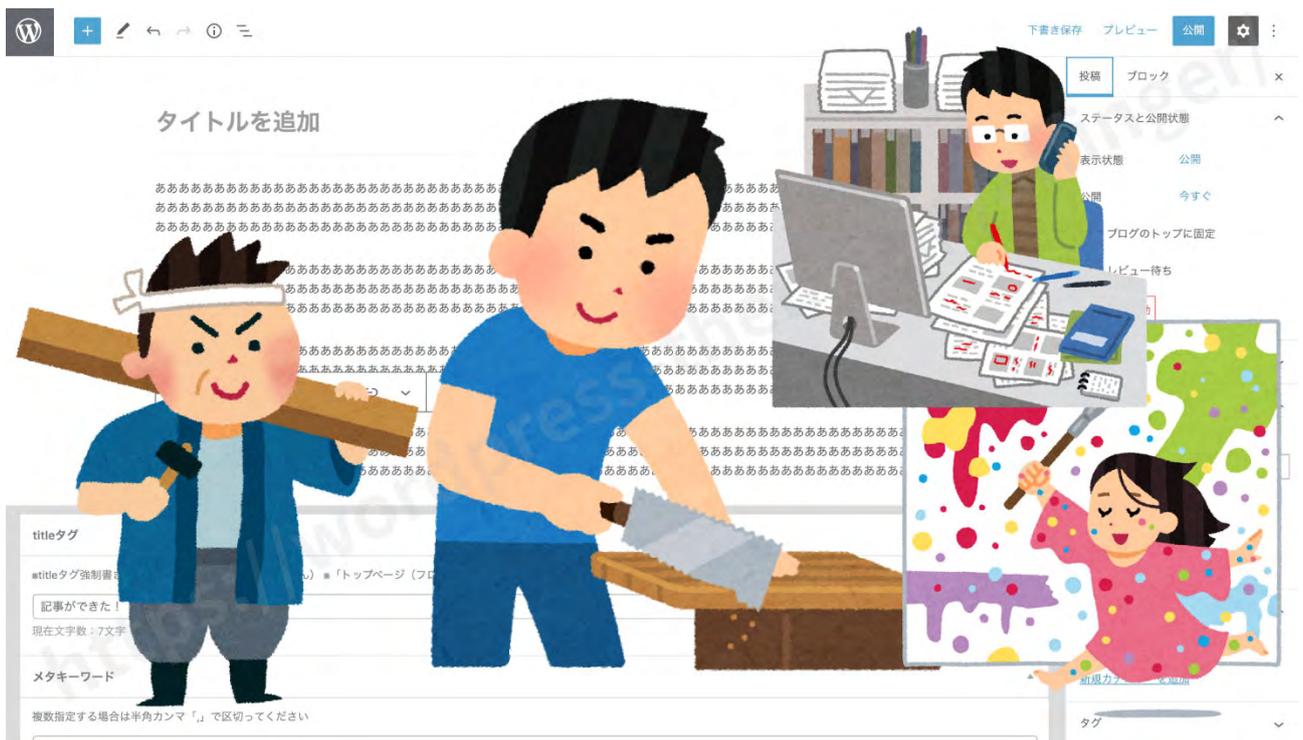
左のパネル (パーツ置き場)

左のパネル (資材置き場) を呼び出すのはこのボタンです。



右のパネル (デザイン & 出版手続き)

デザインを施す画面 or 記事を公開する画面を呼び出すのはこのボタンです。



記事を作る流れはイメージできましたか？

記事を作る際はこの流れをイメージしてみてください。

ブロックエディタで本文を書いてみる！（必須3ブロックを使って）

それでは実際にブロックエディタを使って記事を書いてみましょう！

AFFINGER6(アフィンガー6)にはたくさんのブロック機能が用意されています。おそらくいろんな機能を使ってみたくなるでしょう。しかし、それでは1記事書き終えるのにもものすごい時間がかかってしまいます。

デザインに凝るよりなんとか記事を更新してほしいのが正直なところ。

そ・こ・で！これさえ使えば最低限の記事を組み立てることができるというブロックをこちらで決めさせてもらいました。最初にマスターすべき超ベーシックなブロックです。ゲームでいうと「スターターキット」や「スターターパック」みたいなものとお考えください。

この「スターターブロック」を使って最短で記事を更新していきましょう！（他の機能は後回しで大丈夫です。）

2、見出しブロックをマスターする！

最初の基本ブロックは「見出しブロック」です。記事の骨組みを構成する超重要なブロックです。



【ブロックエディタの使い方】

その1

見出しブロック

「見出し」ブロックについての講義です。まず最初に「見出しの使い方のルール」をまとめました。初心者の人は見てください(すでに知ってる人は飛ばして大丈夫です)。次に呼び出し方からスタイルの適用まで、見出しブロックの使い方手順を説明します。最後に見出しのスタイル一覧を載せています。

見出しとは？使い方のルール



見出しブロック

< h 2 > < h 3 > < h 4 > ...

- 記事の中のリーダー的存在
- 記事の骨組みを形成
- 必須の要素なので記事には必ず挿入する!

ブロックエディタの使い方を説明する前にブログにおける「見出し」とは何かについて抑えておきましょう。すでに知ってるよという人は飛ばしてください。

「見出し(H:ヘッダー)」とは「**超必須ブロック**」のうちの1つです!(残りは段落:pと画像:img)

ブロックがチームだったら「見出し」は記事の大黒柱!記事の骨組みを形成するなくてはならない存在です。記事を作るときは絶対使う要素なのでしっかりマスターしておきましょう。

以下、「見出し」の使い方のルールを説明します。

- 【ルール1】 H1(見出し1)は使わない！

「見出し」には「見出し1」、「見出し2」、「見出し3」という具合に1から6まで全6種類の「見出し」があります。が、このなかの「見出し1(H1)」は記事中では使いません。

※「見出し1(H1)」とは記事のタイトルのことです。

- 【ルール2】 H2を中心に使う！

記事中で主に使うのは「見出し2(H2)」です。

例えば「買ってよかったもの4選」という記事を書く場合、見出し2を4つ並べます。



- 【ルール3】 入れ子式で使おう！

慣れてきたら H2 のサポート役として H3 や H4 も使ってみましょう。使う際に気をつけるのが「入れ子式」で使うということです。H2 の下に H3 を置き、H3 の下に H4 を置きます。立場を逆転させないようにしましょう！

初心者の方がやりがちなこととして「デザインで見出しを使い分ける」ことが挙げられます。見出しの番号によってデザインが異なりますが、番号はデザインパターンの数字ではありません。階層のことです。デザインが好みだからといって好き勝手使うのはやめましょう。階層を意識して使います。



見出しブロックの使い方（基本編）

それではブロックエディタで「見出し」を使ってみましょう。

- 手順 1：見出しブロックの呼び出し方

記事編集画面に行ってください。

まずは「見出しブロック」を呼び出してみましょう！「見出しブロック」はどこにあるのかというと左のパネル（ブロックパネル）にあります。左上の「+ ブロックを追加（プラスマーク）」ボタンを押しましょう。すると左のパネル（ブロックパネル）が展開します。



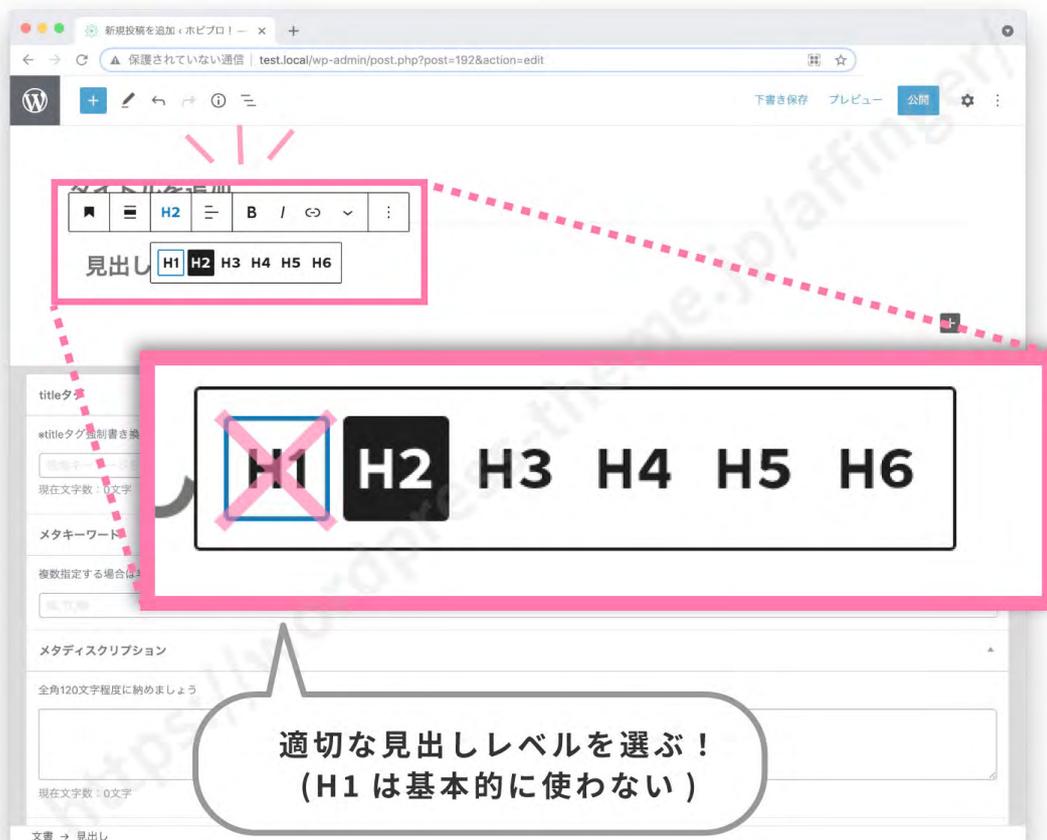
パーツがたくさんありますね。その一番上にしおりのマークが見えると思います。これが "見出しブロック" です。これをクリックしましょう。すると作業画面に "見出しブロック" が追加されます。



- 手順2：見出しのレベルを変える

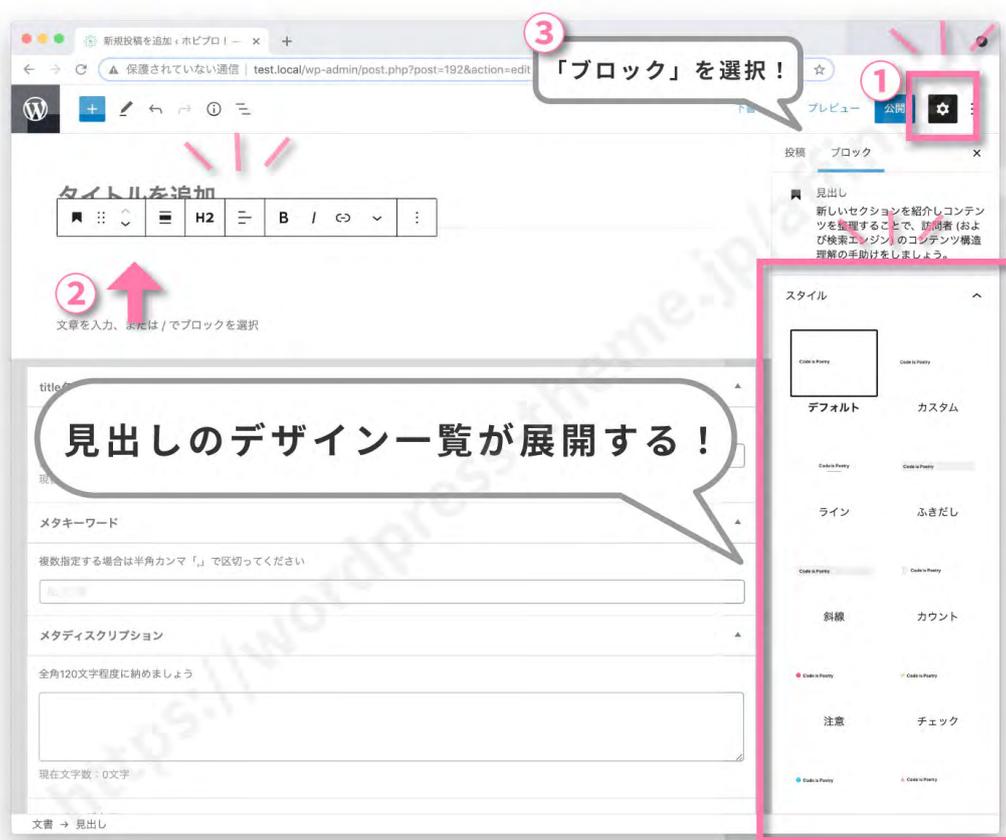
今回は見出しのレベルを変えます。

「見出しを入力...」という箇所をクリックしてください。すると上にツールバーが出てきます。その中の「H2」(見出しレベルを変更)という箇所をクリックします。H1、H2、H3、H4、H5、H6 とズラートというんな見出しが出てきました。この中からあなたが使いたいレベルの見出しを選びます。(注：H1 は使用しません。)



見出しのレベルを変更したら見出しの内容を入力してください。

- 手順3：見出しのデザインを変える



次は「見出し」のデザインを変えてみましょう。デザインはどこで変えられるのかというと先ほどと反対の右のパネル(サイドバー)で行います。1、右上の  歯車ボタン(設定)を押してください。するとパネルが展開します。

2、作業パネルにある「見出しブロック」を選択(クリック)します。3、パネルを「ブロック」に切り替えます。すると見出しのデザインがずらっと出てきます。好きなデザインをクリックしてみましょう。見出しにデザインが反映されます。

【基本的に"デフォルト"を使う!】

何も選択しない状態だとデフォルトというスタイルが適用されます。デフォルトというのはカスタマイズ画面で設定したデザインでしたね(初期設定 pdf 参照: サイト全体のテーマカラーとデザインパターンを決める)。このスタイルを基本的には使ってください。

設定するのが面倒な人へ

いちいちデフォルトスタイルを設定するのは面倒!という人に。そんなときは下で紹介する「助っ人のスタイル」をデフォルトスタイルに"格上げ"させることもできます。やり方は見出しデザイン一覧の下にある"デフォルトスタイル"というプルダウンで好きなスタイルを選択するだけです。

【変化をつけたいときは「助っ人スタイル」！】

基本的にデフォルトのスタイルを使うんですが、時々「ここだけ見出しのデザインを変えたい！」という場面がありますよね。そんなときは「助っ人のスタイル」を使いましょう。「助っ人のスタイル」とはピンチヒッター的なものです。場面場面によって使い分けができるデザインです。ぜひ効果的な使い方をしてください。自分なりの使用ルールを決めることをお勧めします。

AFFINGER 6にはこの助っ人スタイルが10個用意されています！以下でその「助っ人スタイル」たちをご紹介します！

＼ 助っ人スタイル ／

AFFINGER6の見出しスタイル一覧(10個)

それでは頼りになる見出しの助っ人スタイルをご紹介します。「文字の大きさ」、「色」、「背景色」もその都度変更できます。

アフィンガーをおすすめする理由

↑ライン

アフィンガーをおすすめする理由

↑ふきだし

ブログをおすすめする理由

↑斜線

① アフィンガーをおすすめする理由

↑カウント

❗ アフィンガーを買う前の注意点！

↑注意

✓ **アフィンガーのおすすめポイント！**

↑チェック

? **アフィンガーはどこで買える？**

↑質問

A **アフィンガーをおすすめする理由は速度！**

↑答え

1 **アフィンガーをインストール**

↑ステップ

👑 **おすすめのテーマはアフィンガー！**

↑ランキング

変幻自在の " カスタム "

ひとつ紹介していないスタイルがあります。それが " カスタム " です。" カスタム " は変幻自在のスタイルです。記号や背景、文字色などその場その場で毎回組み立てて使います。自由に使ってください。

「見出しブロック」の基本はここまでです。

3、段落ブロック（テキスト）を マスターする！

次のブロックは「段落ブロック」です。段落とは本文のことですね。つまり記事の主役です。

ブロック図鑑 No.02 タイプ
必須ブロック



段落

役割 ブログの主役！本文！

重要度 **超重要！**

【ブロックエディタの使い方】
その2
段落ブロック

今回は「段落 (p)」と「テキスト」についての解説です。つまり「本文」に関する解説ですね。まず最初に「段落の使い方のルール」をまとめました。初心者の方は見てください (すでに知っている人は飛ばして大丈夫です)。次に呼び出し方からスタイルの適用まで、段落ブロックの使い方手順を説明します。最後に段落とテキストのスタイル一覧を載せています。

段落とは？使い方のルール



段落ブロック

< p >

- 英語の文章みたいに内容ごとに区切る！
- 人間向けの文よりちょっと多めにキーワードを使う！
- 強調したい文章には「太字 (ストロングタグ)」を使う！

ブログの主役！本文について理解しましょう。

ブログはどちらかというと日本語より英語の文章に似ています。英語の文章を思い浮かべてください。内容のまとめりごとに「段落 (パラグラフ)」に分かれていますね。ブログも同じです。内容まとめりごとに「段落 (パラグラフ)」で分けます。

そしてその「段落」を構成するのが「テキスト」です。「テキストのまとめりが段落」と覚えてください。

ブログでは「段落 (パラグラフ)」のことを paragraph の頭文字を取って P と表現します。

- 【ルール1】 段落は内容ごとにまとめる！

先ほども言ったように内容のまとめりで段落を分けます。一文ごとに段落を変えるのはあまりおすすめしません。

- 【ルール2】「キーワード出現率」を意識する！

文章を書くときの基本は自然な文章を書くことですが、それにちょっとプラスして「**キーワード出現率**」を意識しましょう。文章の中にキーワードを多めに散りばめるのです。どれくらいかという、**普通に人間向けに書く文章よりちょっと多めにする程度**です。やり過ぎてしまうとペナルティを受けるので注意が必要です。あくまで自然体な文章を心がけます。

- 【ルール3】強調したい文章は「太字」で！

強調したい文章や文字には「**太字 (ストロングタグ)**」を使いましょう。テキストを装飾する方法はたくさんあります(下の一覧参照)が「**太字 (ストロングタグ)**」は他の装飾と違い SEO に影響するタグです。ちょっと地味ですがまず最初に「**太字**」を使えるようになりましょう。

段落ブロックの使い方

それではブロックエディタで文章を書く練習をしてみましょう。

まだ文字の大きさや色のデザイン設定をしていない人は「初期設定の pdf」で紹介しているのでそちらを参照ください。→[サイト全体のテーマカラーとデザインパターンを決める](#)

- 手順1：段落ブロックの呼び出し方

まずは、段落ブロックを呼び出します。呼び出し方はとても簡単です！中央の作業パネルの「**文章を入力、または / でブロックを選択**」という部分をクリックするだけです。すると文章を入力することが可能になります。

もしくは、**+ ブロックを追加** (プラスマーク) で左のパネルを展開→段落ブロックを追加でも大丈夫です。



- 手順2：テキストを入力

段落ブロックを追加したら本文を書いていきましょう。上で紹介したようにキーワードを意識して文を書いていきます。内容が一区切りついたらリターンキーを押して新しい段落ブロックを追加しましょう。

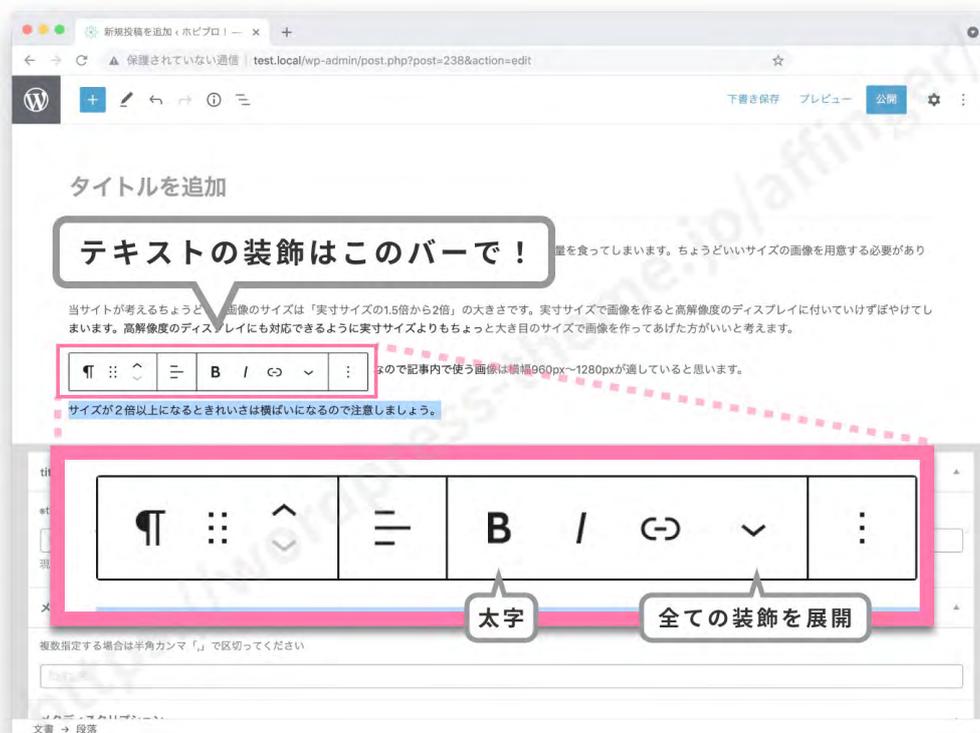


- 手順3：テキストを装飾

テキストが入力できたらそのテキストを装飾してみましょう。

テキストの装飾はテキストの上にある横長の「ツールバー」で行います。試しに太字 タグを適用してみましょう。太文字にしたいテキストを選択して反転させてください。その後、ツールバーの「B」ボタンを押します。するとテキストが太文字になります。

太文字以外にもマーカーや大文字などいろんな装飾ができます。ツールバーの下ボタンを押してください。全ての装飾が出てくるので好みの装飾を探してください。すべての装飾は下で紹介しているので参考にしてください。



- 手順3：段落を装飾（背景色、会話文）

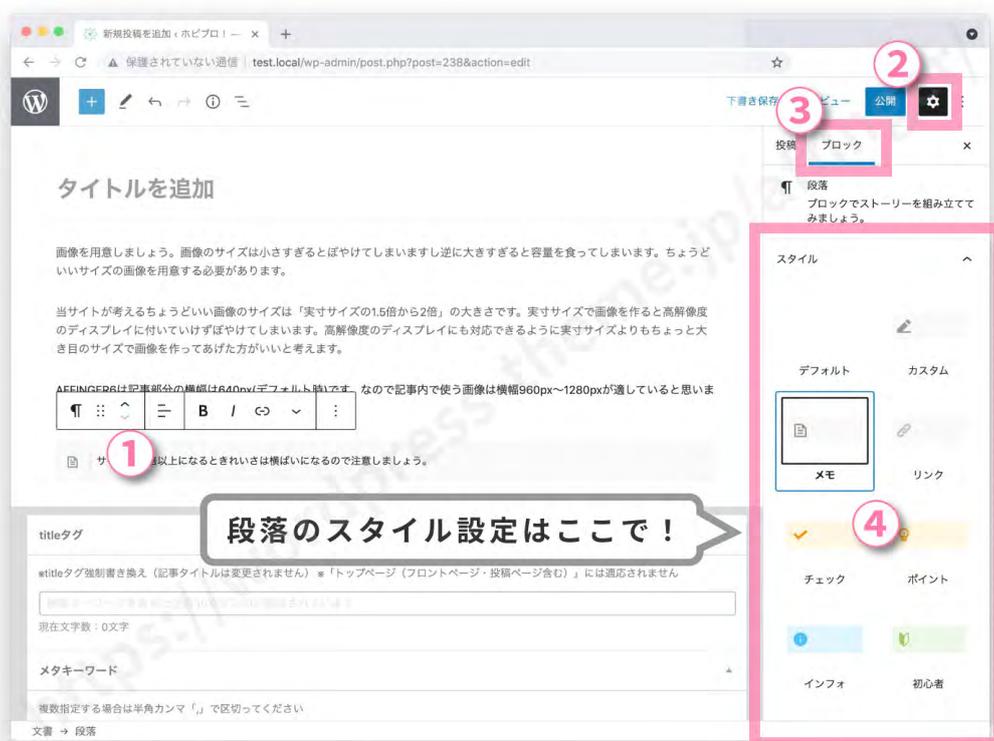
AFFINGER(アフィンガー)とは稼ぐに特化した人気の有料テーマです。



はじめまして。サイト運営者です。

今回は段落全体にデザインを施してみましょう。背景を色付きにしたり会話文にしたりすることができます。

やり方はまず、中央の編集画面でデザインを施したい段落を選択(クリック)します。次に右上にある  (歯車マーク) を押して右のパネルを展開します。パネルをブロックパネルに切り替えましょう。すると段落のスタイル一覧がでてきます。ここから好きなデザインを選びます。



【メモを適用してみる】

 AFFINGER(アフィンガー)とは稼ぐに特化した人気の有料テーマです。

試しに "メモ" のデザインを適用してみましょう。一覧から "メモ" のスタイルを選択します。すると段落に "メモ" のデザインが適用されました。

【会話文を適用してみる】

今回は会話文を適用してみましょう。

会話文は使う前にアイコンを設定する必要があります。こちらで設定しましょう。

場所：【ダッシュボード】 → 【AFFINGER 管理】 → 【会話アイコン】

「アップロードボタン」を押してアイコンをアップロードします。

アップロード後、再びスタイル設定画面に戻ってくると「簡易会話 A」にアップロードしたアイコンが反映されているはずですが、(表示されない場合は「Gutenberg 設定」で有効化されているか確認してください。下の補足参照。)

段落を選択した上で「簡易会話 A」を押すと段落が会話文に変わります。

注意：段落設定画面で使える会話文は2つまでです。それ以上はショートコードを使います。

すべてのスタイルを使えるようにするには

初期状態では段落スタイルは一部のスタイルしか使うことができません。全てのスタイルを使えるようにするには個別に有効化する必要があります。設定は「Gutenberg 設定」でできます。

場所：【ダッシュボード】 → 【AFFINGER 管理】 → 【Gutenberg 設定】 > "段落ブロック"

使いたいスタイルの
チェックを外す!

使いたいスタイルのチェックを外します。反対に使わないスタイルにはチェックをして無効化しましょう。

テキストのスタイル一覧

それではここからテキストスタイルの一覧をご紹介します。

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑ 普通のテキスト

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑ 太字 (strong): 文字が太くなります

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑ イタリック: 文字が斜体になります

参考 おすすめ 注目!

↑ [オレンジ]: 文の前に使って注意を引きます

必須 注意 危険

↑ [赤]: 同上

見出し2はこのようにテキストを `<h2></h2>` で挟むと出来上がります。例: `<h2>おすすめのワードプレステーマ</h2>`

↑ インラインコード: 文中にコードを挿入する

ルフィ  ゾロ  ナミ 

↑ インライン画像: 文中に画像を挿入する

ファインダー → アプリケーション → ユーティリティ

↑ キーボード入力: 浮き出た表現

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。 強調したい文はこのように記述します。

↑ ソースコード風: 灰色の背景

$x^n + y^n = z^n$ 、 $2^3 = 8$ 、 $2^{\log_2 3} = 3$ 、 3cm^2

↑上付き：文字上に小文字が使えます

H₂O、CO₂

↑下付き：文字下に小文字が使えます

在庫~~10~~個：売り切れました、~~2900~~円→1900円：値下げしました！

↑取り消し線：打ち消すときに

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑ドット線：文字下に点線です

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑マイ細マーカー A,B：マーカー線です。色は変更可能。

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑太字と太字(赤)：太字です。こちらは SEO に影響しません。

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑文字サイズ(大)：大サイズの文字です。

AFFINGERは稼ぐに特化したテーマです。

↑文字サイズ(小)：小サイズの文字です。

段落 (p) のスタイル一覧

ここからは段落全体のスタイル一覧をご紹介します。

 AFFINGER(アフィンガー)とは稼ぐに特化した人気の有料テーマです。

↑メモ

 公式サイトはこちら(affinger.com)

↑リンク

 以下の項目を確認してください。

↑チェック

 コツはキーワードを意識すること！

↑ポイント

 すでに購入した人が対象です。

↑インフォ

 ご使用にあたっての注意。

↑注意

 ご使用にあたっての注意。

↑注意 (グレー)



初めて使用する方はお読みください。

↑初心者



AFFINGERはある程度PCに慣れた人におすすめの有料テーマです。

↑マル



AFFINGERはPCの初心者にはあまりおすすめできない有料テーマです。

↑バツ



AFFINGERのいいところはカスタマイズがしやすいというところですね。

↑ Like



AFFINGERのイマイチなところは設定が難しいというところですね。

↑ Bad



```
<a href="/blog/">記事一覧へ</a>
```

↑ Code

OGPとはSNSで使用されるタイトルやイメージ画像のことです。

↑付箋

10記事でアドセンスに合格しました！

↑囲みドット

ここはポイント！

↑ふきだし

ここはポイント！

↑まるもじ

詳しくはこちら >

↑簡易ボタン



はじめまして。サイト運営者です。

↑簡易会話

4、画像ブロックをマスターする！

最後のブロックは「画像ブロック」です。画像は記事を賑やかにする要素であると同時に SEO 的にも重要な要素です。



【ブロックエディタの使い方】

その3

画像ブロック

今回は「画像」についての説明です。まず最初に「画像の使い方のルール」をまとめました。次に呼び出し方からスタイルの適用まで、画像ブロックの使い方手順を説明します。最後に画像のスタイル一覧を載せています。

画像とは？使い方のルール



画像ブロック

< I M G A L T >

- 記事に彩りを与える！ビジュアル担当
- ただのお飾りと思ったら大間違い！SEO 的にかなり重要な要素！
- 最低1枚は用意！必ず Alt テキスト（代替テキスト）は設定する！

「画像要素 (タグ)」とは「**超必須ブロック**」のうちの最後の1つです！

「画像要素 (タグ)」の役割はビジュアル担当です！記事に彩りを与えてくれます！SEO 的にはあまり影響力がなさそう？ただのお飾り？そんな風に見えますよね。しかし！しかし！実は SEO 的にもものすごく影響力を持つ要素なんですよ。なので使い方の基本をしっかりマスターしておきましょう。

画像は影の支配者！？

アメリカの SEO コンサルタント Jason McDonald 氏は著書「SEO Workbook」で「画像」の重要性を全てのタグの中で上から3番目に位置付けています。これは「H1」や「メタディスクリプション」より高い位置です。意外と重要なんですね。ちなみに1番目は「タイトルタグ」、2番目は「リンク」です。

以下、「画像」の使い方のルールを説明します。

-【ルール1】画像は1記事につき最低1枚は載せよう！

先ほど述べたように画像はとても重要な要素です。必ず記事に挿入しましょう！アメリカの SEO コンサルタント Jason McDocald 氏は1記事に最低1枚は画像を載せることを推奨しています。

-【ルール2】「Alt テキスト（代替テキスト）」は「絶対」付ける！

画像に「Alt テキスト（代替テキスト）」は「絶対」付けましょう！めんどくさいのはわかります！でも画像の「Alt テキスト（代替テキスト）」はぜったいに付けてください！

「Alt テキスト（代替テキスト）」とは画像が表示されないときに代わりに表示される文字です。つまり**画像を言葉で表したものです**。あなたが思ってる以上に検索エンジンはこれを重要視しているようです。付けない人が多いですが付けると付けるとでは SEO 的に大きな差が出ます。しつこいですが**画像には Alt テキスト（代替テキスト）を「絶対」付けましょう！**

-【ルール3】Alt テキスト（代替テキスト）はキーワードを意識！

Alt テキスト（代替テキスト）を付けるときはキーワードを意識して付けます。画像と無関係ではいけません。なるべく狙っているキーワードを入れるようにしましょう。

画像ブロックの使い方

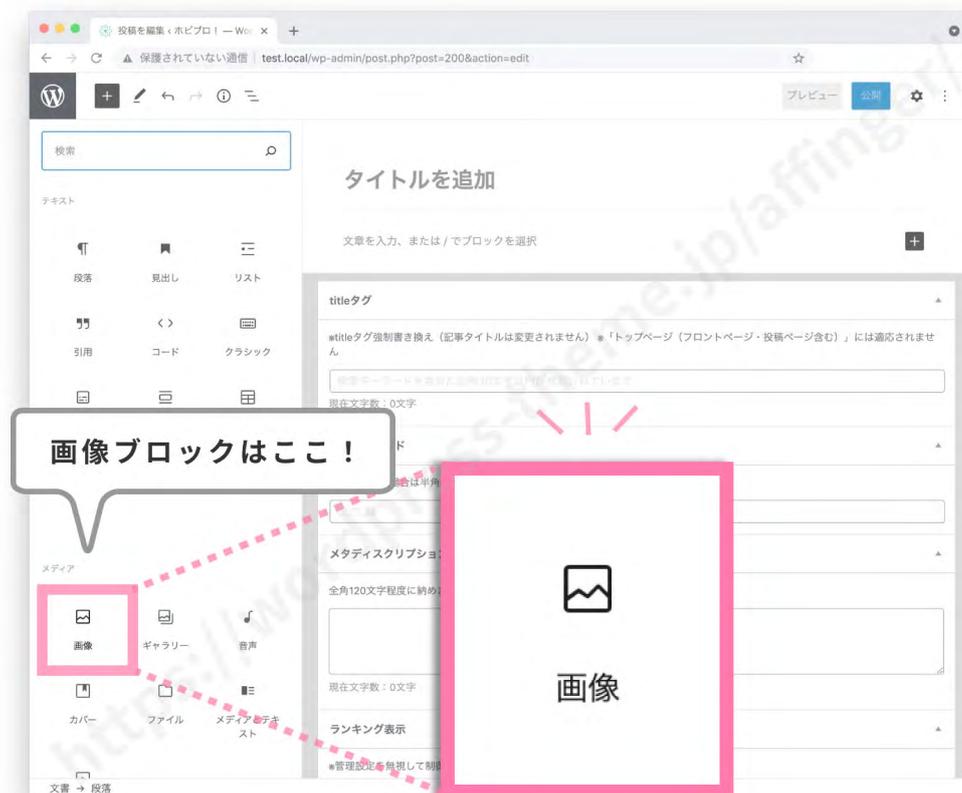
それではブロックエディタで「画像」ブロックを使ってみましょう。

- 手順1：画像ブロックの呼び出し方

記事編集画面にやってきました。まずは「**画像ブロック**」を呼び出してみましょう！「**画像ブロック**」はどこにあるのかというと左のパネルにあります。左上の「**+ ブロックを追加**」ボタンを押してください。するとブロックパネルが展開します。



パーツがたくさんある中の**"メディア"**というエリアを見てください。写真のマークがあると思います。これが**"画像ブロック"**です。これをクリックします。すると真ん中の作業画面に**"画像ブロック"**が追加されました。





- 手順2：画像をアップロードする

画像を挿入してみましょう。"アップロード" ボタンを押します。

選択画面が出てくるのでアップロードしたい画像を選んで"開く" ボタンを押してください。すると画像がアップロードされ作業画面に画像が反映されます。

※アップロード済みの画像を使う場合は"メディアライブラリ"を押します。



- 手順3：Alt テキスト（代替テキスト）を入力

画像をアップロードできたら今度は **Alt テキスト（代替テキスト）** を入力します。どこで入力するのかというと右のパネル（サイドバー）です。1、右上の  歯車ボタン（設定）を押してください。すると右パネルが展開します。

2、作業パネルにある「画像ブロック」をクリックして選択します。3、パネルを「ブロック」に切り替えます。すると画像ブロックの編集画面が出てきます。

下の方の "**画像設定**" に "**Alt テキスト（代替テキスト）**" の設定場所があります。ここに画像の Alt テキスト（代替テキスト）を入れましょう。

上で述べたように Alt テキストはキーワードを意識して入力します。



- 手順4：スタイル(デザイン)を適用

最後に画像にデザインを施しましょう(画像にデザインを適用したい場合)。先ほどの画像ブロックの編集画面を見てください。適用できるスタイル(デザイン)が表示されています。AFFINGER6では5個のスタイル(デザイン)が用意されています。



画像のスタイル一覧

それでは画像スタイルの一覧をご紹介します。全部で5個です。



↑角丸 (四隅が丸みを帯びます)



↑シャドウ (画像に影が付きます)



↑ワイド (コンテンツの横幅いっぱいに画像が広がります)



↑ 枠線 (画像のふちを細い線で囲みます)



↑ ポラロイド風 (ポラロイド写真風に画像を囲みます)

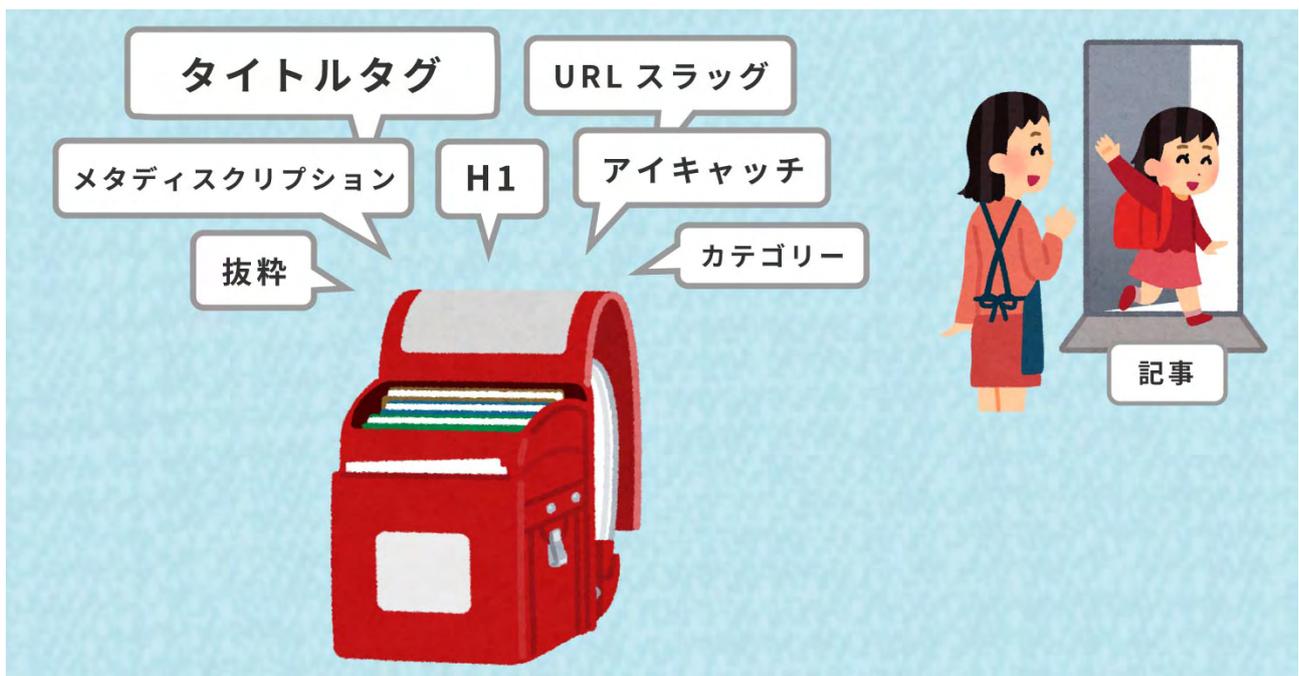
これで画像ブロックの解説は終わりです。

これで3つのブロックの解説は終わりました。あなたはもう最低限の記事は書ける状態です。この3つのブロックを駆使して記事作りに挑戦してください。

5、記事を公開する！

本文が完成したらいよいよ記事を公開しましょう。

と、その前にやることがあります。記事に必要な情報を持たせてあげるのです。
すべて終わればやっと記事を公開できます！



ブロックエディタの入門編。入門編の最後は「記事を公開する」です。

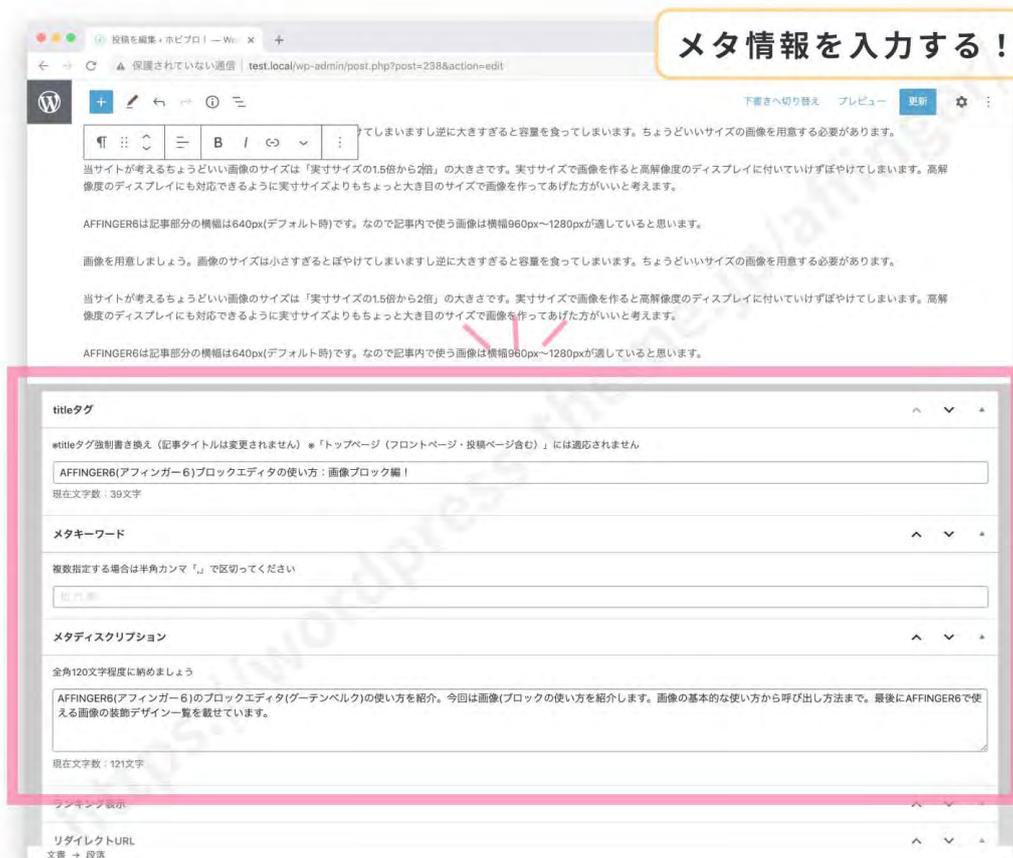
これまでは本文の作成についてやってきましたね。本文は完成しましたか？本文が完成したらよいよ仕上げの作業です。ここでは本文を書いたあと記事を公開するまでにやるべきことを7個紹介します。

記事はあなたにとってかわいい子供のようなものです。その子供をいよいよ送り出す時がきました。子供を送り出すときは着の身着のままですり出しますか？ちゃんと身だしなみを整えて、必要な持ち物を持たせて送り出しますよね。記事も同じです。世に出すときは体裁を整えて、必要な情報を持たせてあげる必要があるのです。最後に記事を精一杯整えて送り出してあげましょう！

1、メタ情報を入力する

まずは、記事のメタ情報を記入しましょう。メタ情報とは"タイトルタグ"と"メタディスクリプション"の2つです。記事がGoogleを通過するとき必要になる情報です。これがないとSEO的に不利になりますよ。

記事入力画面の一番下にメタ情報を記入する箇所があります。ここにメタ情報を記入していきます。



メタ情報とは？

メタ情報というのは検索したときに表示される情報です。検索画面をイメージしてください。検索結果に青いタイトルと説明文が出てきますね。あの部分のことです。

メタ情報とは検索結果に表示される情報のこと！

https://wordpress-theme.jp › HOME › ブロックエディタ

AFFINGER6(アフィンガー6)ブロックエディタの使い方 ...

2021/06/09 — AFFINGER6(アフィンガー6)のブロックエディタ(グーテンベルク)の使い方を紹介。今回は画像(img)ブロックの使い方を紹介します。画像の基本的な使い方から呼び出し方法まで。最後にAFFINGER6で使える画像の装飾 ...

検索結果

タイトルタグ <title> タグ

メタディスクリプション

- タイトルタグ <title タグ> を入力する

像度のディスプレイにも対応できるように実寸サイズよりもちょっと大き目のサイズで画像を作ってあげた方がいいと考えます。

タイトルタグを入力する！

ント時)です。なので記事内で使う画像は横幅960px~1280pxが適していると思いま

titleタグ

簡潔で読者が読みたいと思うタイトルを付ける！

※titleタグ強制書き換え（記事タイトルは変更されません）※「トップページ（フロントページ・投稿ページ含む）」には適応されません

AFFINGER6(アフィンガー6)ブロックエディタの使い方：画像ブロック編！

現在文字数：39文字

全角で30文字程度！

重要なキーワードはなるべく最初の方に配置！

最初にタイトルタグを入力しましょう。タイトルタグは検索結果に青文字で表示される部分のことです。記事のタイトルを簡潔にまとめつつ、読者に読みたい！と思わせるタイトルを付けましょう。

文字数は全角で30文字程度です。それ以降は省略されるので**重要なキーワードはなるべく最初の方に配置するように**しましょう。

- メタディスクリプション (meta description) を入力する

複数指定する場合は半角カンマ「,」で区切ってください

メタディスクリプションを入力する！

メタディスクリプション

記事の内容を簡潔に説明！

全角120文字程度に納めましょう

AFFINGER6(アフィンガー6)のブロックエディタ(グーテンベルク)の使い方を紹介。今回は画像(ブロックの使い方)を紹介し、画像の装飾デザイン一覧を載せています。

現在文字数：121文字

全角で 120 字程度！

ランキング表示

次にメタディスクリプションを入力します。検索結果ではタイトルの下に表示される説明文のことですね。ここに記事の内容を簡潔に説明した文章を入力します。

文字数は全角 120 文字程度です。

メタ情報の入力以上です！

"メタキーワード" は設定しなくても大丈夫です

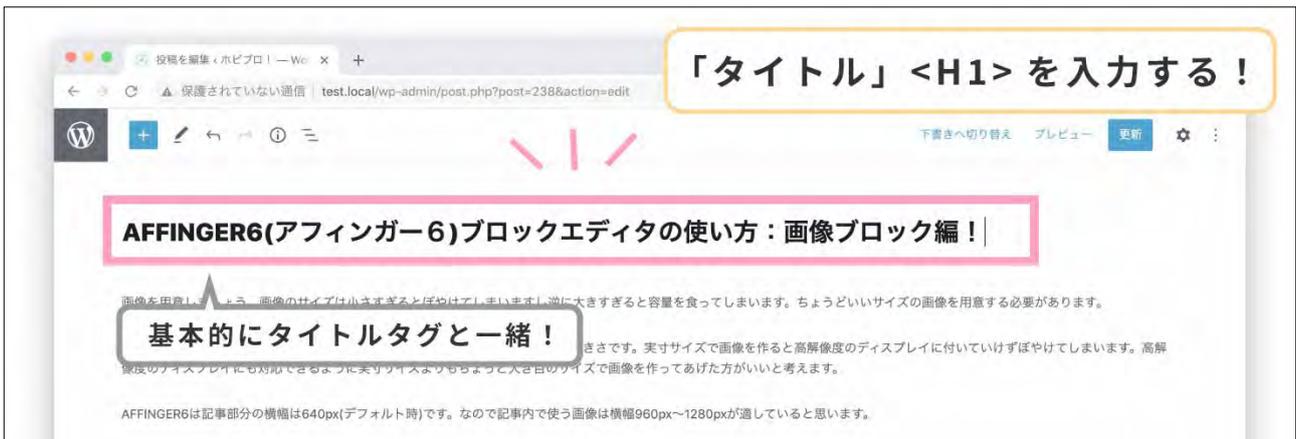
メタキーワードを設定する場所がありますが、メタキーワードは設定しても SEO 的にほとんど意味がないとされています。なので入力しなくても大丈夫です！自分用のメモに使うという手もあります。

- メタ情報を記入する箇所がない場合

メタ情報を記入するところがない場合は非表示になっている可能性があります。表示させるには次の場所から表示をオンにしてください。

場所→【編集画面】→"(右上の3点マーク)"→"設定"→"パネル"→"title タグ"、"メタディスクリプション"

2、「タイトル」 <h1> を入力する



今度はブログのタイトルを付けましょう。

本文の上の部分、「タイトル」を追加という箇所にタイトルを入力します。**基本的には先ほどのタイトルタグと同じで大丈夫です。**

この部分は <H1> タグになります。タイトルタグと比べると影響力は劣ります。記事一覧などブログ内で表示されるのはこのタグです。そして、SNS で表示されるタイトルもこのタグになります。下図参照。

<H1> タグが表示される場所

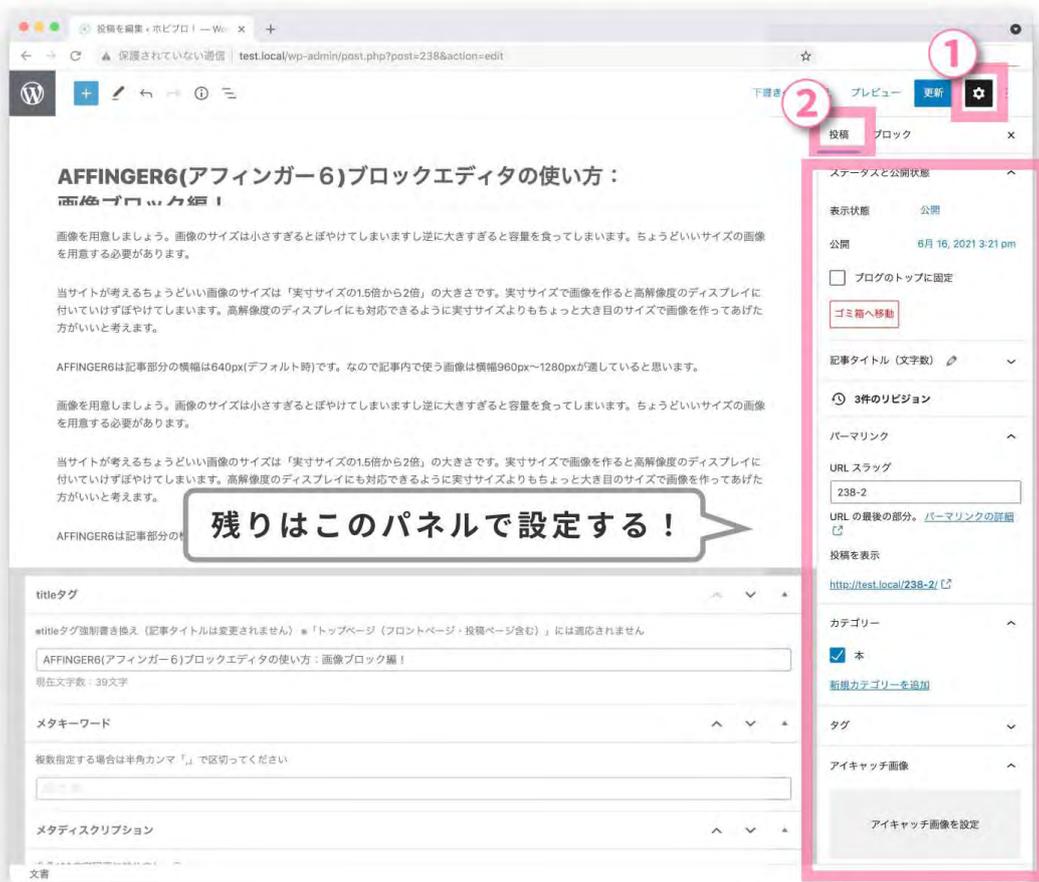
<H1> タグは記事一覧のタイトル部分、Twitter カードのタイトル部分に使われます。



＼ 残りの設定は右のパネルで ／

ここから先は右のパネル（投稿パネル）で設定を行います。

場所：【  歯車マーク】 → 【投稿】



3、パーマリンク (URL スラッグ) を入力する

パーマリンクを設定する!

簡単な英語で入力!
-(ハイフン)や_(アンダーバー)を活用する!

まだカテゴリを作成していない場合はここで作成!

パーマリンク

URL スラッグ

img-block

URL の最後の部分。 [パーマリンクの詳細](#)

投稿を表示

<http://test.local/img-block/>

記事のパーマリンクを入力します。記事の URL の末尾になる部分ですね。例：https://sample.com/○○○○/←○○○○の部分です。

最初は記事の番号が表示されているはずですが、この番号を消して**簡単な英語**に書き換えましょう。英語の間には「-(ハイフン)」か「_(アンダーバー)」を使います。

4、カテゴリを選択する

カテゴリを選択する!

カテゴリにチェックを入れる!

まだカテゴリを作成していない場合はここで作成!

カテゴリ

ブロックエディタ

本

[新規カテゴリを追加](#)

新規カテゴリ名

親カテゴリ

— 親カテゴリ —

[新規カテゴリを追加](#)

記事が属するカテゴリを選びます。カテゴリにチェックを入れてください。※これは記事のジャンル分けです。記事が散らかっているよりもジャンル分けされている方が読者も記事を探しやすいのでカテゴリは必ず設定しておきましょう。

- カテゴリを作成する

まだカテゴリを作っていない場合は「**新規カテゴリを追加**」から新しいカテゴリを作ります。

または、以下の場所からでも新規カテゴリを作成できます（こちらのほうが細かい設定ができます）。

場所：【ダッシュボード】 → 【投稿】 → 【カテゴリ】

ポイント

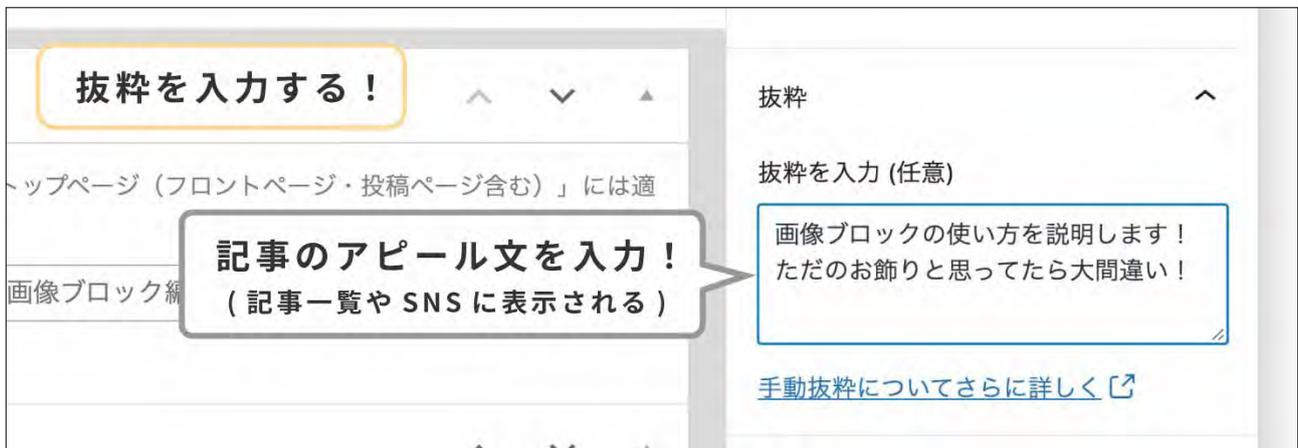
カテゴリ名は検索する人が実際に入力するような**具体的なキーワード**がよいでしょう。

5、アイキャッチ画像を設定する



アイキャッチ画像を設定します。「**アイキャッチ画像を設定**」というところを押してアイキャッチ画像をアップロードしましょう。

6、抜粋を入力する



記事の抜粋を入力します。記事のアピール文です。(65文字程度)。

メタディスクリプションと何が違うかというと、表示される場所が違います。

抜粋が表示される場所

メタディスクリプションは検索結果に表示されるのに対して、抜粋は **SNS** や **サイトの記事一覧** に表示されます。



ポイント

人間用のものなので SEO から離れて **フランクでカジュアルな文体** で書きましょう。Twitter カードを見た人がクリックしたくなるような文章です！

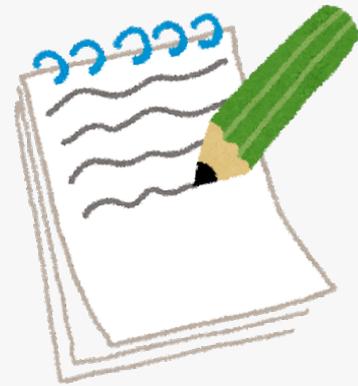
※抜粋を設定しない場合は記事の先頭の文章が表示されます。

7、記事を公開する

title タグ、メタキーワード、メタディスクリプションのバックアップを取る！

記事を公開する前にやっておいてほしいことがあります。それは、「title タグ、メタキーワード、メタディスクリプションをメモ帳アプリにメモしておく」です！

AFFINGER か WordPress どちらかの不具合かはわかりませんが、記事を公開するとこれらの情報が消えるという現象がよく起こります。せっかく用意した文章が消えると悲しいので念のためにバックアップを取っておきましょう。



記事を投稿する！

公開

すべて設定できたら公開ボタンを押します！

公開 今すぐ

ブログのトップに固定

これでやっと記事を公開する準備が整いました！記事を公開しましょう！

右上の「公開」ボタンを押します。確認されるのでもう一度「公開」ボタンを押します。これで記事が公開されました。おめでとうございます！

- 確認する



最後にメタ情報がちゃんと反映されているか確認しましょう(たまに消えるため)。

公開されたての記事を開きます。上の黒いバーの「投稿を編集」を押してください。すると先ほどの編集画面に戻ってきます。メタ情報の記入箇所を見てください。ちゃんとメタ情報が保存されていればOKです。空欄ならもう一度設定し直す必要があります。再度入力して「更新」ボタンを押しましょう。

記事の初投稿おめでとうございます！



記事を投稿する流れは以上です。おつかれさまでした！

....

【ブロックエディタの使い方（初級編）】は以上です。この流れに沿って実際に記事を投稿してみましょう。そして10記事投稿することに挑戦してみてください！

サイト運営に必要なページ を追加する

(お問い合わせページ&サイトポリシーページ)

記事ができたら「お問い合わせページ」と「プライバシーポリシーページ」を作りましょう。この2つはどんなサイトでも絶対必要なページです。しかも！アドセンスを申請するときにも必要になってきます！申請前に事前に作っておきましょう！

6、お問い合わせページを設置する

AFFINGER6 のサイトに「お問い合わせページ」を設置しましょう！ここでは "Contact Form 7" というプラグインを使った設置方法をご紹介します。

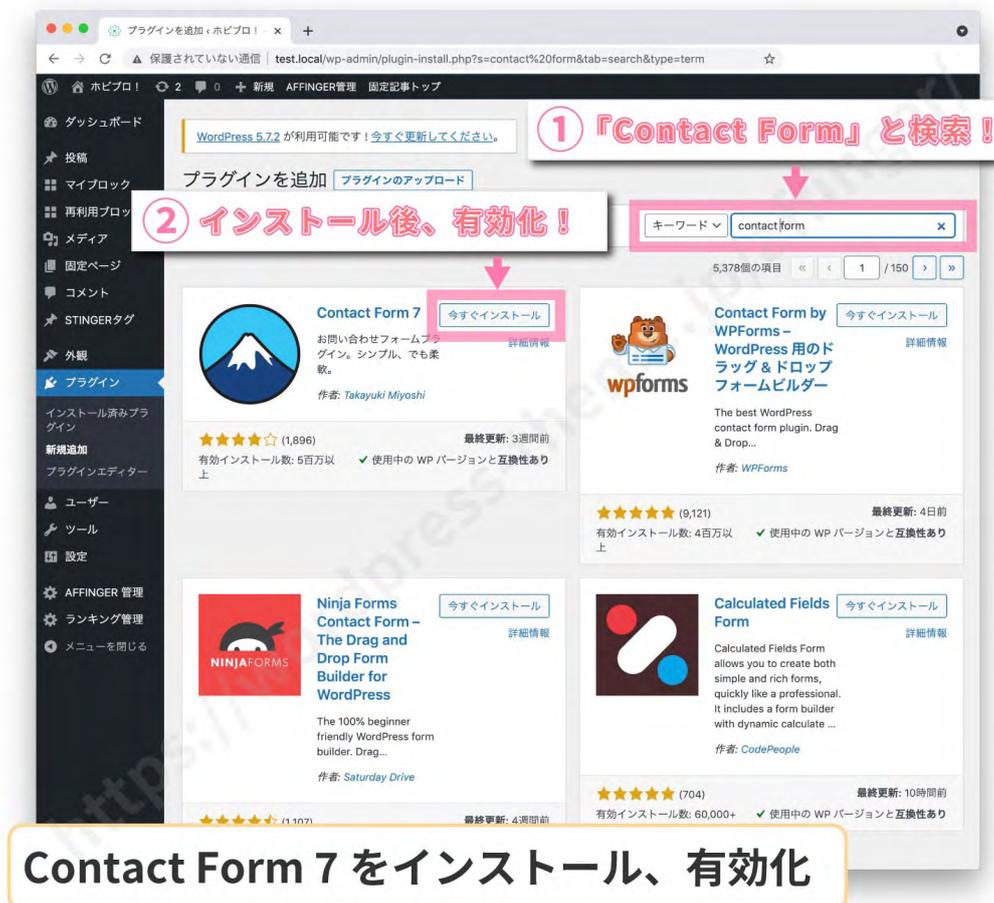
お問い合わせページはサイトを運営する上で必ず用意すべきページです。サイトの信頼にもつながりますし、アドセンス申請時に必要とされています。ここでは "Contact Form 7" という有名なプラグインを使ってお問い合わせページを作る方法をご紹介します。

お問い合わせページを設置する手順

- 手順1 : "Contact Form 7" をインストールしてセッティング

まずは、"Contact Form 7" をインストールします。その後、セッティングします。

I : "Contact Form 7" をインストール、有効化

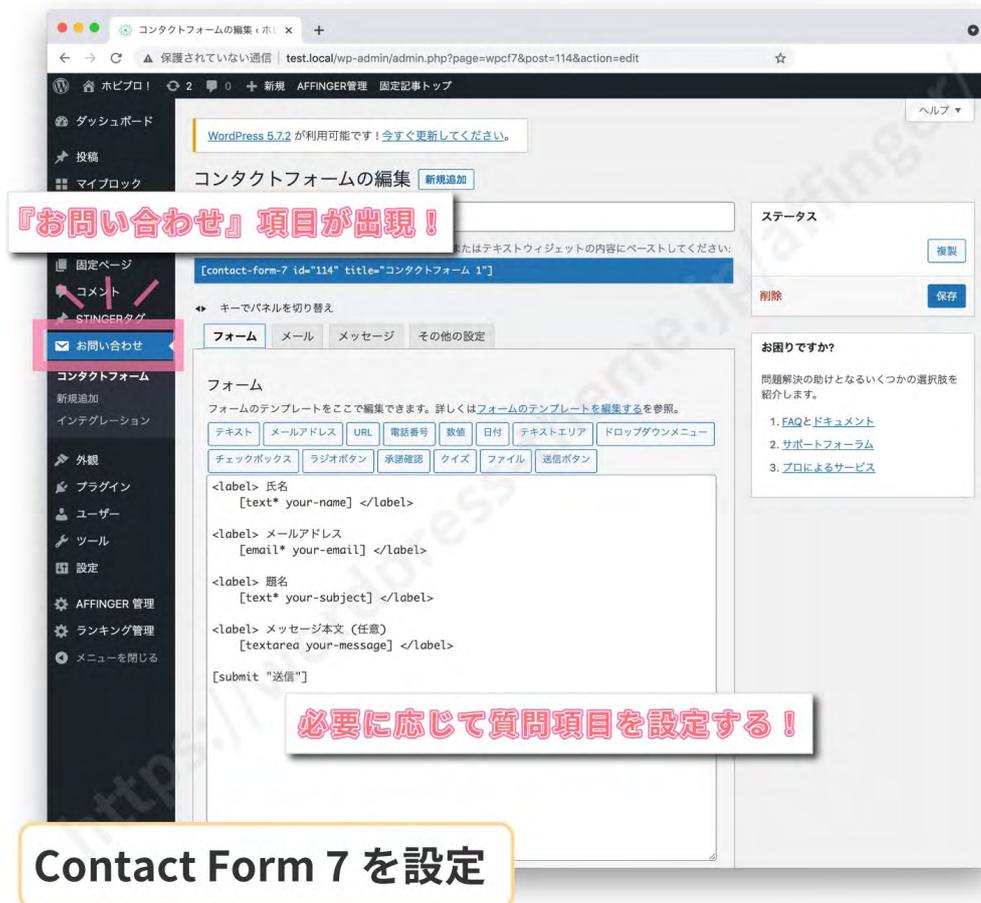


ダッシュボードからプラグインページへ行き "新規追加" ボタンから "Contact Form 7" と検索します。

場所 : 【ダッシュボード】 → 【プラグイン】 → 【新規追加】 > "Contact Form 7" と検索

すると富士山のマークのプラグインが出てくるので "今すぐインストール" を押しましょう。その後 "有効化" ボタンを押します。これで "Contact Form 7" のインストールが完了しました。

II : "Contact Form 7" の設定



有効化するとダッシュボードに " お問い合わせ " という項目が追加されたと思います。ここで "Contact Form 7" の設定を行います。設定画面に移動してください。

場所：【ダッシュボード】 → 【 お問い合わせ 】

そこに " コンタクトフォーム 1 " という項目がすでに作られていると思うので、適宜お問い合わせの質問項目を編集してください。初めは特に変更する必要はないでしょう。

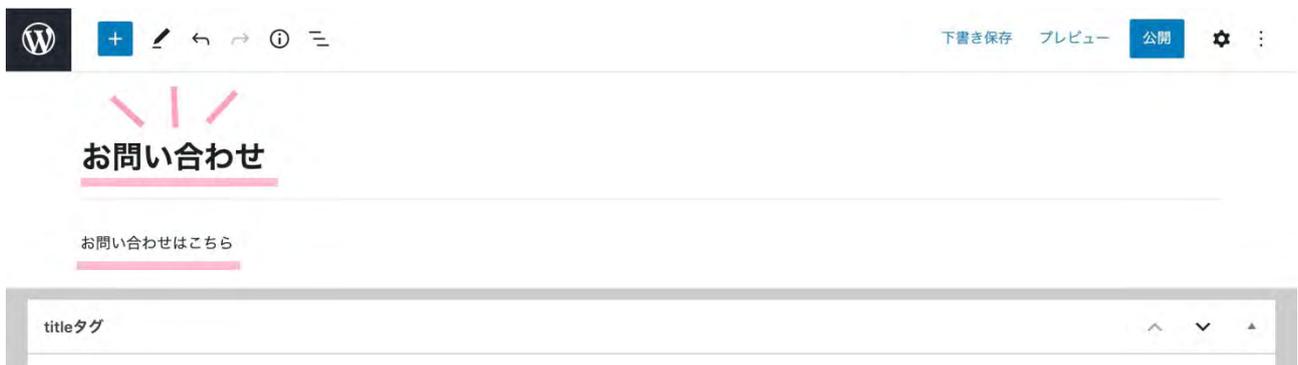
- 手順2 : " お問い合わせページ " を固定ページで作成



"Contact Form 7" を設定しただけではお問い合わせページはできません。"Contact Form 7" を置く専用ページを用意する必要があります。そのページを固定ページで作成しましょう。

場所 : 【ダッシュボード】 → 【固定ページ】 → 【新規追加】

1: タイトルと本文を入力



タイトルに「お問い合わせ」と入れ、本文に「お問い合わせはこちら」と入力します。

II：メインエリアに "Contact Form 7" ブロックを追加

The image shows the WordPress editor interface. In the top-left corner, the 'Add Block' button (+) is highlighted with a pink box and a red arrow labeled '1'. Below it, the 'Widgets' section is visible, with the 'Contact Form 7' widget highlighted by a pink box and a red arrow labeled '2'. The main editor area shows the 'Contact Form 7' block configuration screen, which includes a search field, a text area for the form, and a 'Meta Keywords' field. Below the main editor, a smaller screenshot shows a dropdown menu for selecting a contact form, with the text 'コンタクトフォームを選択:' and a dropdown menu containing 'コンタクトフォーム1'.

次に左パネルの " + " (ブロックの追加) を押してブロックの中から **"Contact Form 7"** を呼び出します (下にスクロールしたところにあります)。すると中央の画面に **"Contact Form 7"** のブロックが追加されます。**"コンタクトフォームを選択"** というプルダウンから先ほど編集したコンタクトフォームを選択しましょう。

Ⅲ：パーマリンクを決める



次は固定ページのURL(パーマリンク)を決めます。右のパネル(サイドバー)の "  設定 " → " **固定ページ** " よりパーマリンクの設定行います。

そのURLスラッグを "**otoiawase**" とします。

なぜ "otoiawase" ?

"contact" というURLが一般的ですが、それだと海外からのスパムが届きやすいです。私も一時悩んでいましたが、URLを "conntact" から "otoiawase" に変えたところスパムがなくなりました。

最後に " **公開** " ボタンを押してページを公開します。これで「お問い合わせページ」が完成しました！



送信ボタンの色を変えるには？

ボタンの色(文字色と背景色)はカスタマイズ画面で変更できます。場所→【カスタマイズ画面】→【オプション(その他)】→"コンタクトフォーム7送信ボタン"



- 手順3：「お問い合わせ」ページへのリンクを設置

「お問い合わせページ」が完成しました！でもちょっと待ってください。今のままでは読者が「お問い合わせページ」に行く方法がありません。せっかく「お問い合わせページ」を作っても誰もそのページに辿り着けないなら意味がないですよね。そこで、トップページのどこかに"お問い合わせページ"へのリンクを設置しましょう。ここでは2つの設置場所を紹介します。

1：ヘッダーメニューに設置する

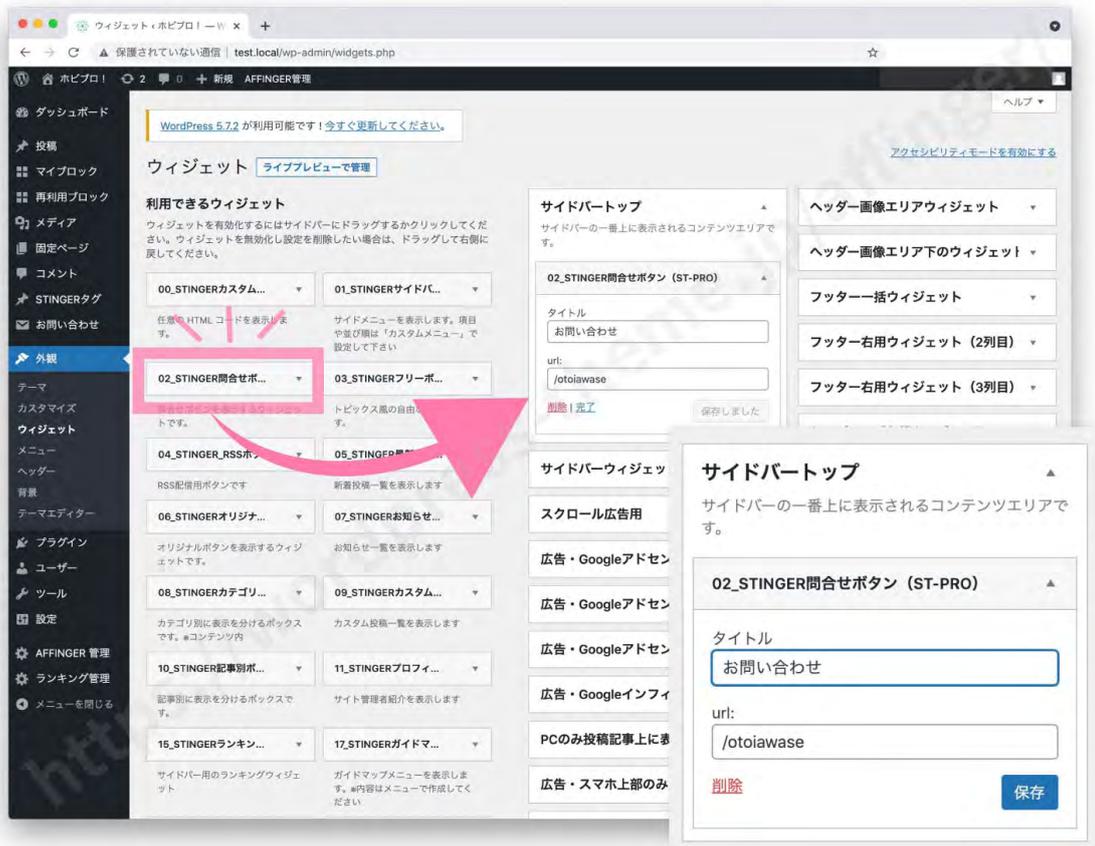


まずはヘッダーメニュー(グローバルナビゲーション)に設置する方法です。



設置方法はこうです。まず、ウィジェット画面に行きましょう。

場所：【ダッシュボード】 → 【外観】 → 【ウィジェット】



配置したい場所に "**02_STINGER 問い合わせボタン (ST-PRO)**" をドラッグ & ドロップします (例はサイドバートップ)。そしてタイトルに「**お問い合わせ**」、URL に「**/otoiawase**」と入力しましょう。そして保存します。

文字色や背景色はカスタマイズ画面で設定できます。

場所：【カスタマイズ画面】 > オプション (その他) > " 問い合わせボタン (ウィジェット) "

これでウィジェットに「お問い合わせ」へのリンクが設置できました。

以上でお問い合わせページの設定は完了です。URL は間違っていないか、メールは届くかテストしてみましょう。

7、「プライバシーポリシー」を設置する！

最後は「プライバシーポリシー」のページを設置します。「プライバシーポリシー」とはサイトを運営する上で絶対必要な事務的なページのことだと思ってください。

今回は「プライバシーポリシー」ページを設置する方法について解説します。

あなたのサイト、全く何もなかった状態から次第に輪郭が浮かび上がってきましたね。これであなたも立派な**サイト運営者**とっていいでしょう。これからあなたはいち運営者としての責任が求められます。

サイト運営者としての責任を果たす最初の任務が「**プライバシーポリシー**」ページの設置です。「**プライバシーポリシー**」ページとはユーザーの個人情報をどう扱うか宣言するページです。これはサイトを運営していく上で絶対必要となるページです。ちなみに、アドセンスを申請する上でも必ず設置しなければならないページとされています。最初はいまいちピンとこないかもしれませんがあなたが思っている以上に重要な作業です。なので慎重にやっていきましょう！

「プライバシーポリシー」とは？

ネット社会が進むにつれ問題になっているのが**企業の個人情報漏れ**ですね。どこかで個人情報が漏れる度に大騒ぎになっているのを見れば、個人情報とはいかにデリケートなものか理解できると思います。

個人情報を扱うのはなにも大企業ばかりではありません。サイトを作った他ならぬ**あなた**もユーザーの個人情報を取得できる立場になるのです。お問い合わせからはユーザーのメールアドレスを知れたり、コメント欄からはユーザーのIPアドレスを知ることができます。つまりサイトを持つだけであなたも知らない内に重大な責任を負っているのです。

そこであなたは「個人情報をどう扱うか」を明示する義務が生じます。「個人情報をどう扱うか」を明示するページ。それがこの「**プライバシーポリシー**」のページなのです。あなたが個人情報をどのような用途で使用するかきちんと明記しましょう。立派なサイト運営者としての第一歩です。

「プライバシーポリシー」の設置手順

それでは実際に「**プライバシーポリシー**」ページを設置していきましょう。

- 手順1：固定ページを新規追加

まずは新しいページを作ります。「**プライバシーポリシー**」ページは投稿ページではなく固定ページを使います。

固定ページを新規で作成しましょう。

場所：【ダッシュボード】 → 【固定ページ】 > "新規追加"

- 手順2：プライバシーポリシーの内容を入力

固定ページの編集画面にきたら「プライバシーポリシー」の内容を入力していきます。

広く使われているサンプルを用意したので参考にしてください。前回勉強した「見出しブロック」と「段落ブロック」を駆使して書いて(コピペして)いきましょう。太字の部分は「見出し2 (h2)」を、普通の文字の部分は「段落 (p)」を使ってください。

1：全体的なプライバシーポリシーの記述



プライバシーポリシーは全体的な視点のものと個別視点のものがあります。まずは全体的な視点のものを記述をしていきましょう。

ブログで個人情報を得る経路はコメントかお問い合わせなのでそれぞれコメントを記述します。

個人情報の利用目的

当ブログでは、お問い合わせや記事へのコメントの際、名前やメールアドレス等の個人情報を入力いただく場合がございます。

取得した個人情報は、お問い合わせに対する回答や必要な情報を電子メールなどをでご連絡する場合に利用させていただくものであり、これらの目的以外では利用いたしません。

コメントについて

当ブログへのコメントを残す際に、IP アドレスを収集しています。

これはブログの標準機能としてサポートされている機能で、スパムや荒らしへの対応以外にこの IP アドレスを使用することはありません。

なお、全てのコメントは管理人が事前にその内容を確認し、承認した上での掲載となります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせについて

当サイトではお問い合わせいただく際にお名前やメールアドレス等の個人情報を入力していただいております。

これらの個人情報は、お返事する際に利用するものであり、それ以外の目的利用することはありません。

なお、収集した個人情報は、法令に基づく場合を除き、本人の同意なく第三者へ開示することはありません。

II : アクセス解析ツールに関する記述



個別視点の記述です。**Google Analytics(グーグルアナリティクス)**を使っている人はアナリティクス専用の記述をする必要があります。アナリティクスはユーザーの Cookie 情報を得るためです。なので、その扱いを説明する記述をします。

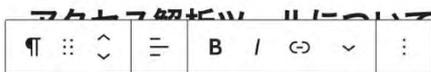
アクセス解析ツールについて

当サイトでは、Google によるアクセス解析ツール「Google アナリティクス」を利用しています。この Google アナリティクスはトラフィックデータの収集のために Cookie を使用しています。このトラフィックデータは匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能は Cookie を無効にすることで収集を拒否することが出来ますので、お使いのブラウザの設定をご確認ください。この規約に関して、詳しくは「[Google アナリティクス規約](https://marketingplatform.google.com/about/analytics/terms/jp/)」をご確認ください。

「Google アナリティクス規約」という部分には次のリンクを貼りましょう。URL → (<https://marketingplatform.google.com/about/analytics/terms/jp/>)

これらの個人情報は、お返事する際に利用するものであり、それ以外の目的利用はいたしません。

なお、収集した個人情報は、法令に基づく場合を除き、本人の同意なく第三者へ提供されることがあります。

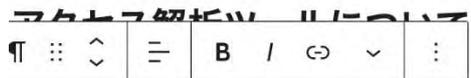


当サイトでは、Google によるアクセス解析ツール「Google アナリティクス」を利用しています。この Google アナリティクスはトラフィックデータの収集のために Cookie を使用しています。このトラフィックデータは匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能は Cookie を無効にすることで収集を拒否することが出来ますので、お使いのブラウザの設定をご確認ください。この規約に関して、詳しくは「[Google アナリティクス規約](https://marketingplatform.google.com/about/analytics/terms/jp/)」をご確認ください。

文章を入力、または / でブロックを選択

1 「Google アナリティクス規約」の部分を選択する

2 リンクボタンを押す



当サイトでは、Google によるアクセス解析ツール「Google アナリティクス」を利用しています。この Google アナリティクスはトラフィックデータの収集のために Cookie を使用しています。このトラフィックデータは匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能は Cookie を無効にすることで収集を拒否することが出来ますので、お使いのブラウザの設定をご確認ください。この規約に関して、詳しくは「[Google アナリティクス規約](https://marketingplatform.google.com/about/analytics/terms/jp/)」をご確認ください。

文章を入力、または / でブロックを選択



1 「新しいタブで開く」をオンにする

III：広告に関する記述



個別視点の記述です。この時点ですでにアドセンス広告を貼っていたり、何らかのアフィリエイト商材を紹介している場合は広告に関する記述を追加しましょう。広告もユーザーの Cookie 情報を得るためです。なので、その扱いを説明する記述をします。

広告について

当ブログでは、第三者配信の広告サービス（Google アドセンス、〇〇、〇〇）を利用しており、ユーザーの興味に応じた商品やサービスの広告を表示するため、クッキー（Cookie）を使用しております。

クッキーを使用することで当サイトはお客様のコンピュータを識別できるようになりますが、お客様個人を特定できるものではありません。

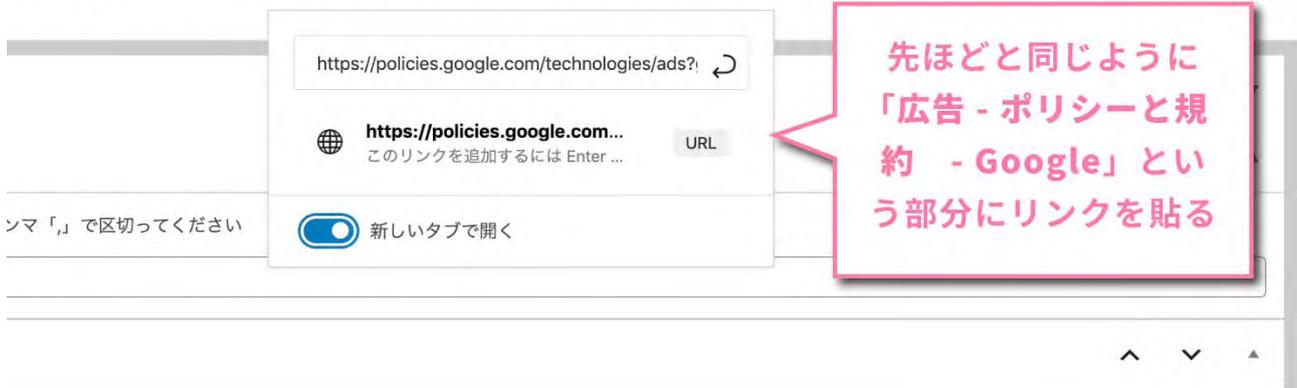
Cookie を無効にする方法や Google アドセンスに関する詳細は「[広告 - ポリシーと規約 - Google](#)」をご確認ください。

〇〇には使用している ASP 名を挿入してください。

「[広告 - ポリシーと規約 - Google](#)」という部分には次の Google のリンクを貼ってください。
URL → (<https://policies.google.com/technologies/ads?gl=jp>)

を識別できるようになりますが、お客様個人を特定できるものではありません。

方法やGoogleアドセンスに関する詳細は「[広告 - ポリシーと規約 - Google](#)」をご確認ください。



ここから先は「プライバシーポリシー」に関する記述ではないですがおまけとして同じページに併記すべき項目です。

IV : 「免責事項」の記述



「免責事項」とはトラブルを避けるための記述です。リンク先で起こったトラブルには責任を負わないことを記しておきましょう。

免責事項

当サイトからリンクやバナーなどによって他のサイトに移動された場合、移動先サイトで提供される情報、サービス等について一切の責任を負いません。当サイトのコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。

当サイトに掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

以上がサンプルです。一つ注意してほしいのがこれはほんの一例にすぎないということです。「プライバシーポリシー」と調べればいろんなバリエーションの文章が出てきます。ぜひあなたのサイトにあった文章を探して書き加えていってください。

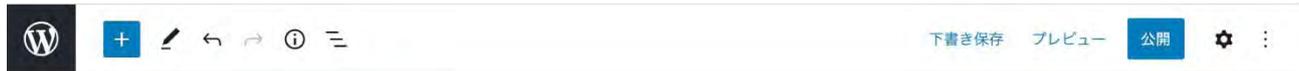
※サンプルにより起きたトラブルについて当サイトは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 手順3：必要事項を埋めて記事を公開する

ページの中身が完成したら必要事項を埋めてページを公開しましょう。ブロックエディタ 初級編の「記事を公開する」を参考にしてください。

I：タイトルを「プライバシーポリシー」にする

ページのタイトルを「プライバシーポリシー」にします。



プライバシーポリシー

個人情報の利用目的

II：URL スラッグを "privacy" に設定する

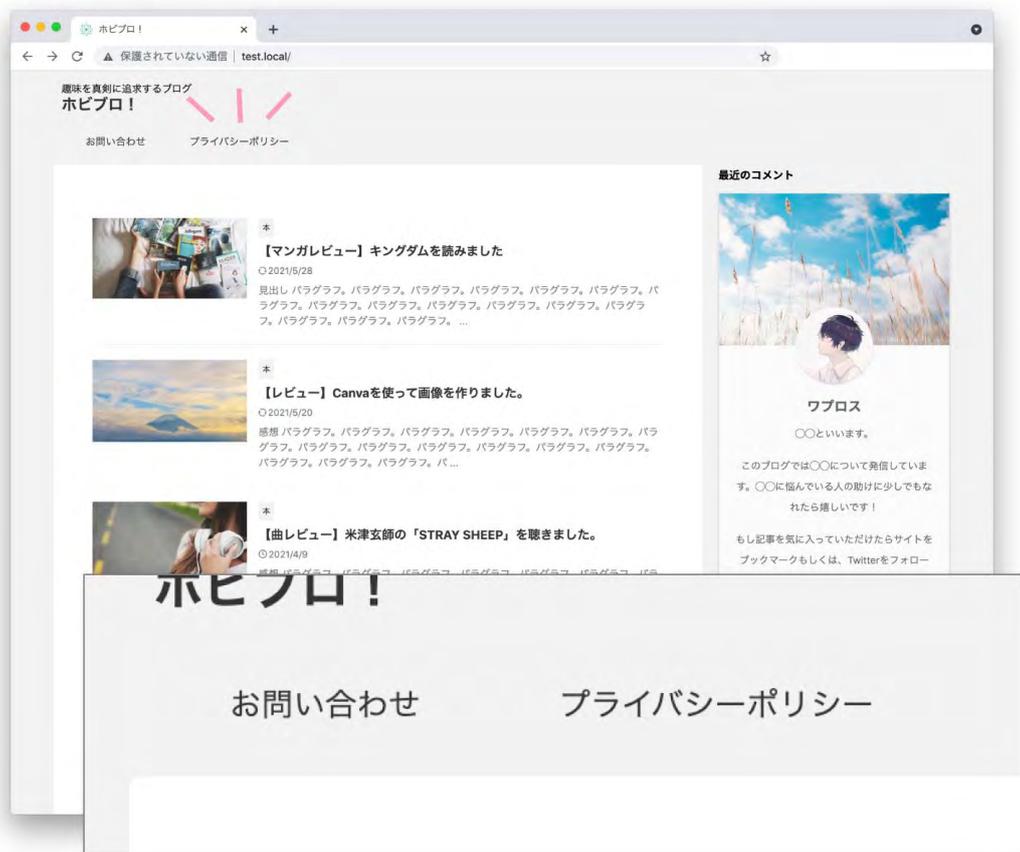
URL スラッグを "privacy" に設定します。

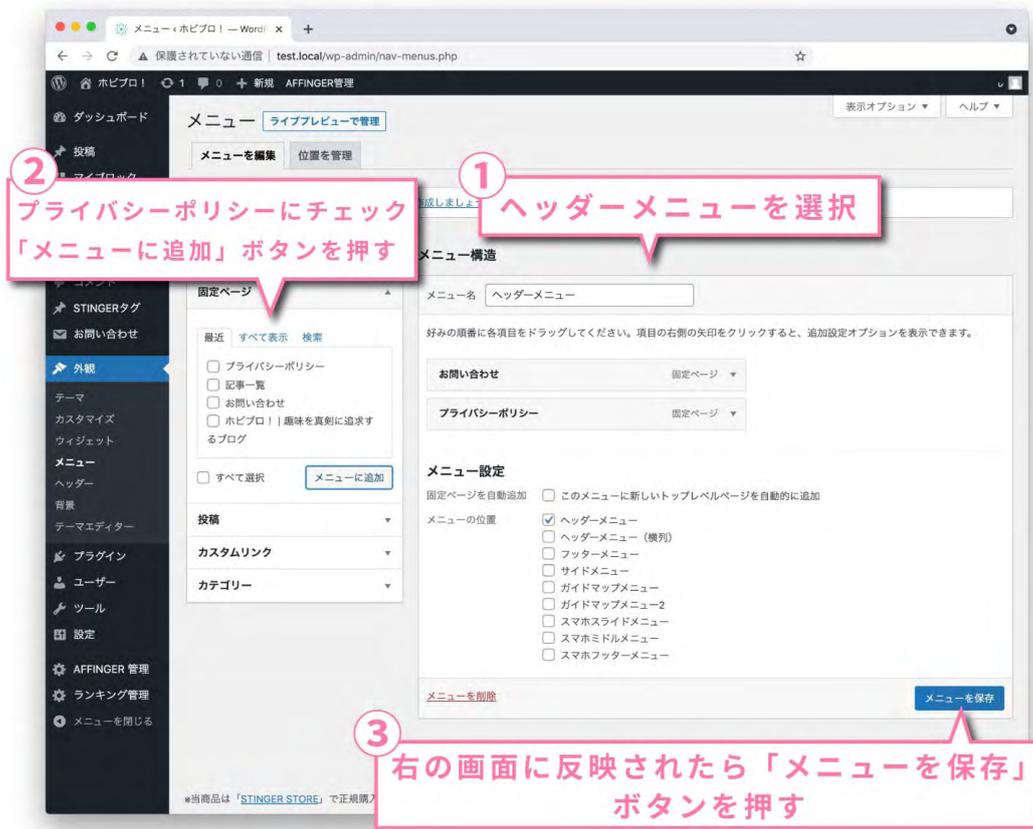


設定が完了したら "公開" ボタンを押してページを公開しましょう。

- 手順4：わかりやすい場所にリンクを設置する

「プライバシーポリシー」のページが完成しました！しかし、このままではどこからもたどり着けない状態です。なのでトップページのわかりやすい場所に「プライバシーポリシー」へのリンクを設置します。ここではヘッダーメニューに設置する方法をご紹介します。





まず、メニュー設定画面へ移動します。

場所：【ダッシュボード】 → 【外観】 → 【メニュー】

"メニュー構造"の欄で"ヘッダーメニュー"を選びます。次に"メニュー項目を追加の欄"で"固定ページ"の"プライバシーポリシー"にチェックを入れ"メニューに追加"ボタンを押しましょう。すると"メニュー構造"の欄に"プライバシーポリシー"が反映されます。反映されたことを確認したら"メニューを保存"ボタンを押します。

これでヘッダーメニューに"プライバシーポリシー"ページへのリンクが設置されました。

ヘッダーメニューをまだ作ってない人

まだヘッダーメニューを作っていない人は新しく作ります。

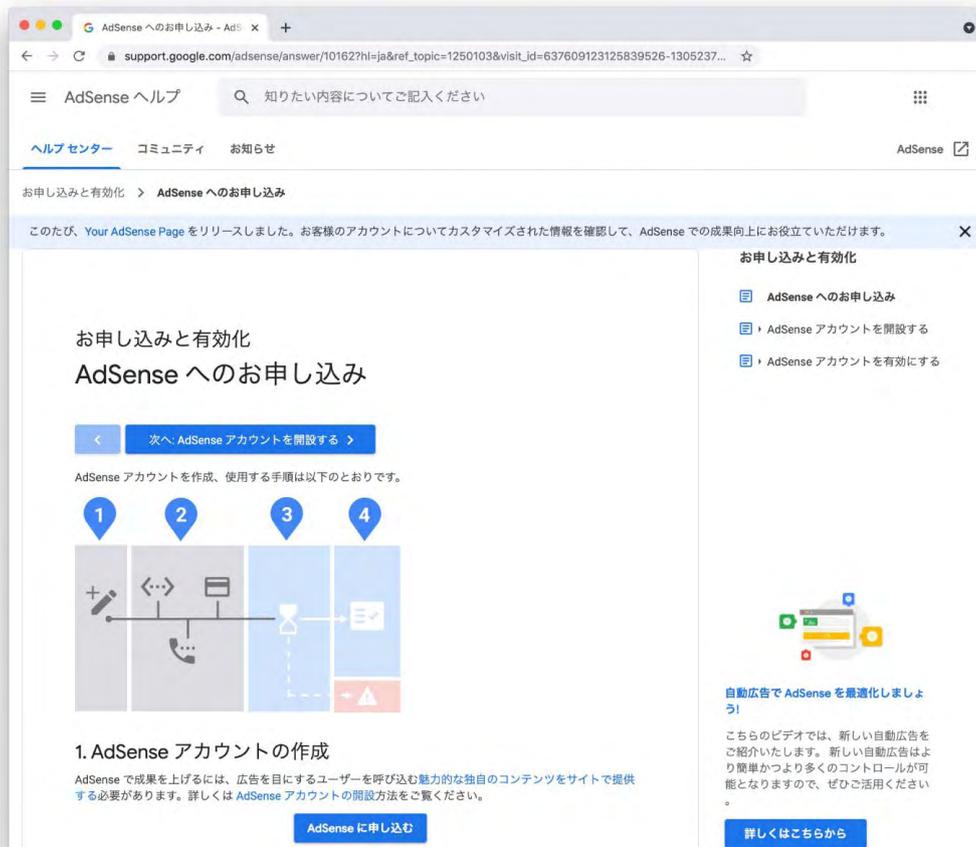
上の"新しいメニューを作成しましょう"のリンクを押します。"メニュー名"に「ヘッダーメニュー」と入力。"メニュー設定"の箇所は「ヘッダーメニュー」にチェックを入れます。終わったら"メニューを作成"ボタンを押します。

以上で「プライバシーポリシー」ページの設定は完了しました。

あとがき

いかがでしたか？これでこのPDFの内容は終わりです。おつかれさまでした。ここまでたどり着くだけでも大変だったと思います。自分に自信を持ってください。

10記事完成したらぜひ AdSense にチャレンジしてみてください。ここまでたどり着いたあなたならきっと合格できるはずです。遠くからあなたの合格を願っています。



参考：AdSense へのお申し込み手順 (<https://support.google.com/adsense/answer/10162?hl=ja>)

AFFINGER6 の使い方をもっと知りたい人は私のサイトの方にお立ち寄りください。いろんな使い方を記事にしています。また、Twitter もやっています。AFFINGER の使い方などつぶやいていますのでよかったらフォローお願いします。それではまたどこかでお会いしましょう！

AFFINGER6 の使い方を紹介するサイト：アフィンガーラボ (<https://wordpress-theme.jp/affinger/>)

筆者 Twitter：ワプロス (<https://twitter.com/woploss>)